

2022年度第2四半期 決算報告書

プレスリリース
2022年7月29日、パリ発



着実な成長軌道

営業収益は増加、ジョーズ効果はポジティブ、
その上、リスクプロファイルは堅実

営業収益が力強く増加 事業部門が全てプラス寄与

ホールセールバンキング部門は堅調な伸び (+10.6%)
コマーシャル&個人向けバンキング サービス部門¹は極めて着実な伸び (+11.1%)
インベストメント&プロテクションサービス部門も増収を達成 (+2.2%)
営業収益：前年同期比 **+8.5%**

力強い事業実績

ジョーズ効果もポジティブ (+0.9ポイント)

事業活動の伸びを支えるため、費用が増加
営業費用増の約35%は、連結範囲の変更および為替レート変動が原因

営業費用：前年同期比**+7.6%**

堅実なリスクプロファイル、長期にわたる積極的管理の実績を
リスク費用の低さが体現：**33bp²**

マクロ経済情勢や地政学的状況に伴う損失予想に備えて事前引当（ステージ1と2）

純利益が力強く増加

純利益³：31億7,700万ユーロ、前年同期比**+9.1%**
（一時項目を除くと前年同期比**+18.5%**）

バランスシートは盤石、収益力は向上

普通株式等Tier 1比率⁴：**12.2%**
有形自己資本利益率（ROTE）⁵：**12.4%**

1. コマーシャル&個人向けバンキング事業のプライベートバンキングの100%を含む（フランスのPEL/CELの影響を含む）；2. リスク費用+顧客向け融資期首残高；3. 親会社株主帰属純利益；4. 資本要求指令4（CRD4）国際財務報告基準（IFRS）第9号経過規定を含む；5. 再評価前



BNP PARIBAS

The bank
for a changing
world



本プレスリリースに含まれる数値は、未監査の数値です。

本プレスリリースには、将来の事象に関する現在の見解および見通しに基づいた予測的な記述が含まれています。予測的な記述には、財務上の予測や見積りおよびその基礎となる仮定、将来の事象、事業活動、商品およびサービスに関連する計画、目標および見通しに関する記述、ならびに将来の業績およびシナジーに関する記述があります。予測的な記述は将来の業績を保証するものではなく、BNP パリバとその子会社および出資先企業にまつわる固有リスク、不確実性および仮定によって左右されるものです。さらには、BNP パリバとその子会社の事業展開、銀行業界のトレンド、将来の設備投資および買収、グローバルもしくはBNP パリバの主要地域市場における経済状況の変化（世界的には特に新型コロナウイルスのパンデミック関連）、市場競争ならびに規制といった要因にも左右されます。これらの事象はいずれも不確実なものであり、現在の見通しとは異なる結果と、ひいては現在の見通しとは大きく異なる業績をもたらす可能性があります。実際の業績は、予測的な記述において見積りまたは示唆されたものとは大きく異なる可能性があります。本プレスリリースに含まれるいかなる予測的な記述も本プレスリリース発行日現在の予測です。

BNP パリバは、新たな情報や将来の事象によって、予測的な記述を公に修正もしくは更新する責任を負いません。これに関連して、「監督上の検証・評価プロセス (Supervisory Review and Evaluation Process : SREP)」は欧州中央銀行 (ECB) により毎年実施されますが、BNP パリバ・グループが満たすべき所要資本比率は毎年修正される可能性があることに留意が必要です。

本プレスリリースに含まれるBNP パリバ以外の第三者に関わる情報もしくは外部の情報源から入手した情報は、その真実たることを独立に確認したものではありません。ここに記載の情報や意見に関して、表示または保証を表現あるいは示唆してはならず、またその公正性、正確性、完全性または正当性に関しては確実なものではありません。BNP パリバもしくはその代表者ともに、いかなる過失に対しても責任を負わず、また本プレスリリースあるいはその内容の使用により生ずる、もしくは本プレスリリースやここに記載の情報や資料に関連して生じる、いかなる損失に対しても責任を負いません。

表中および分析において掲載された数値は四捨五入のため、内訳の合計と総数に若干の差異が生じる場合があります。

BNPパリバの取締役会が2022年7月28日に開催され、ジャン・ルミエール会長が議長を務めるなか、当グループの2022年度第2四半期の業績が検討されました。

今回の決算を踏まえ、ジャン＝ローラン・ボナフェCEO（最高経営責任者）は取締役会の最後に以下のように述べました。

「BNPパリバは、多角的かつ統合的なビジネスモデルの強みを活かし、お客様や経済に役立つ活動を拡大し続けています。

BNPパリバの収益性は向上し、有形自己資本利益率（ROTE）は12%を超え、業績は堅調です。この好業績は、経営資源と事業を全て更に結集し、個人・法人・機関投資家のお客様を景気循環のあらゆる局面でご支援する力を体現しています。

当グループは、欧州経済に資するプラットフォームの拡大を続けており、業績伸長や技術的進歩を追求し、お客様がより持続可能な経済へ移行するご支援を行っています。

お客様に御礼を申し上げると共に、BNPパリバ・グループの世界中のチーム全てに謝意を表します。お客様の我々へのご信頼は益々高まっています。」

*
* *

他に特に言及がない限り、本プレスリリースに含まれる財務情報・事項にはバンクウエスト関連の活動が含まれ、事業上の見解を反映しています。当該財務情報・事項は、国際財務報告基準（IFRS）第5号（売却目的で保有する非流動資産に含まれる資産および負債に関連）の適用により生じる影響は反映しておりません。本プレスリリースでは、下記の通り、IFRS 第5号を適用せずに提示する事業上の見解とIFRS 第5号を適用した場合の連結財務諸表の調整を含めています。

力強い業績の伸び、ジョーズ効果はポジティブ

BNPパリバの第2四半期の業績は着実な足取りを裏付けるものとなりました。営業収益は増加し、ジョーズ効果は正で、リスク管理は堅実です。

当グループは多角的かつ統合的なビジネスモデルを備え、お客様に寄り添う力、経済と共に歩む力を包括的に擁しており、当四半期も営業収益と純利益を力強く伸ばし続けることができました。

BNPパリバでは、堅実なビジネスモデルによって基調的な経済を超える成長を生み出しています。収益性は向上しており、純利益の伸びは2019年度第2四半期からの平均¹で+8.8%を記録し、当四半期の有形自己資本利益率（ROTE）は12.4%²です。こうした好業績は欧州における独自の立ち位置の表れであり、業界有数のプラットフォームから生じています。

当グループの成長余地は力強い事業モメンタムによって実証されており、2021～2022年度上半期にまとめた買収等の戦略的発展によって持続しています。融資残高は前年同期比8.1%増、預金残高は同7.3%増でした。当グループの成長には節度があり、目標はどの部門においても毎年ジョーズ効果を正にすることです。また、長期にわたる堅実かつ積極的なリスク管理も効果を発揮しており、例えばリスク費用が営業総利益に占める比率は欧州で最も低い部類です。

¹ 純利益（親会社株主帰属純利益）の2019年度第2四半期～2022年度第2四半期のCAGR

² 再評価前



当グループ全体の当四半期の営業収益は127億8,100万ユーロに達し、前年同期比8.5%増でした。

事業部門の当四半期の営業収益は、好調な事業活動が奏功し、前年同期比9.7%増¹でした。ホールセールバンキング（CIB）部門の増収は力強く（+10.6%²）、市場シェアの向上や2021年/2022年度上半期の戦略的発展による加速が寄与し、特に株式事業と証券管理事業が貢献しました。CIB部門では3事業全てが増収を果たしています。コマーシャル&個人向けバンキング サービス（CPBS）部門の営業収益³も11.1%増⁴と大幅増で、コマーシャル&個人向けバンキング事業（+9.4%）と専門的金融事業（+14.4%）の双方の高い伸びに牽引されました。インベストメント&プロテクションサービス（IPS）部門の営業収益は、厳しい市場環境にありながら2.2%増⁵でした。ウェルス・マネジメント事業と保険事業が好調で、アセット・マネジメント事業が市況関連で受けた影響を相殺しています。

営業費用はグループ全体で当四半期は77億1,900万ユーロ、前年同期比7.6%増でした。費用増は事業活動の伸びや事業開発の支援に伴うもので、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと4.9%増でした。当四半期の営業費用には、一時項目として、事業再編費用⁶と事業適応費用⁷（2,800万ユーロ）、および、IT強化費用（8,200万ユーロ）が合計1億1,000万ユーロ含まれています（前年同期の一時項目合計は7,100万ユーロ）。

事業部門の営業費用は前年同期比8.6%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同5.7%増）、ジョーズ効果は正でした（+0.9ポイント）。CIB部門の営業費用は事業開発の支援で膨らみ、連結範囲変更の影響もあり、13.3%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと5.0%増）、ジョーズ効果は+0.6ポイントでした。CPBS部門の営業費用³は、コマーシャル&個人向けバンキング事業と専門的金融事業の双方で事業活動の伸びと連結範囲変更の影響があり6.5%増⁸、ジョーズ効果は高水準でした（+4.5ポイント）。営業費用³の内訳は、コマーシャル&個人向けバンキング事業が7.1%増、専門的金融事業が5.1%増です。IPS部門の営業費用は6.7%増⁹で、主に事業開発支援や的を絞った取り組みで費用が嵩みました。

営業総利益はグループ全体で当四半期に50億6,200万ユーロに上り、前年同期比9.9%増の大幅増益でした。

リスク費用は、グループ全体で当四半期は7億8,900万ユーロ、前年同期に比べて3.0%の削減、顧客向け融資残高の33bp相当と低水準で、特に不良債権（ステージ3）の引当の低さを反映しています。当四半期のリスク費用の中には、ウクライナへの軍事侵攻の間接的影響、インフレの高進、金利の上昇に関連して予想される損失の事前引当5億1,100万ユーロ（ステージ1と2）が含まれていますが、健康危機関連の引当の解除1億8,700万ユーロで一部相殺しています。

これらを受けて、営業利益は当四半期にグループ全体で42億7,300万ユーロと前年同期比12.7%増と力強く、特に事業部門は同14.0%増の大幅増益でした。

営業外項目は、当四半期は一時項目の利益が前年同期比で大幅に減り、2億2,900万ユーロの利益でした（前年同期は4億300万ユーロの利益）。前年同期の一時項目にはAllfunds株売却¹⁰による譲渡益3億ユーロが含まれていました。

¹ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+7.2%

² 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+5.6%

³ コマーシャル&個人向けバンキング事業のプライベートバンキングの100%を含む（フランスのPEL/CELの影響を含む）

⁴ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+9.8%

⁵ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+1.5%

⁶ 特定の事業（特にCIB部門）の再編に関連

⁷ 特にCIB部門、コマーシャル&個人向けバンキング事業、ウェルス・マネジメント事業の事業適応策に関連

⁸ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+6.1%

⁹ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+5.6%

¹⁰ Allfunds持分6.7%の売却

税引前利益はグループ全体で当四半期は45億200万ユーロとなり、前年同期（41億9,400万ユーロ）比で7.4%増でした。

当グループは国際会計基準（IAS）第29号「超インフレ経済下における財務報告」をトルコにおいて2022年1月1日付けで適用しています。トルコのハイパーインフレ¹によって当四半期/当上半期の税引前利益に生じた影響は全体的に限定的でした（+1,000万ユーロ）。

法人税率は平均で26.2%でした。

以上から、グループ全体の当四半期の純利益は31億7,700万ユーロとなり、前年同期比9.1%増の大幅増益でした。なお、一時項目による影響を除くと32億5,800万ユーロ、前年同期比18.5%増です。

普通株式等Tier 1比率は2022年6月末現在12.2%²でした。当グループの即時利用可能な余剰資金は4,500億ユーロに上り、これは短期資金調達との関係で1年超の余裕資金があることを意味します。レバレッジ比率³は3.8%でした。

1株当たり有形純資産額⁴は2022年6月末現在78.0ユーロで、2008年12月末からの年平均成長率は6.8%に相当します。

当グループは戦略プラン『Growth, Technology & Sustainability 2025』で3つの重要な柱を改めて確認し、グループを挙げてのアプローチを体系化し、社会と関わる方針の策定に取り組み、お客様が持続可能な経済へ移行するご支援を推し進めています。その舵取りのためのツール、プロセス、ガバナンスの強化を行っているほか、ローンポートフォリオがカーボンニュートラルの目標を達成できるよう必要な措置を講じています。金融専門月刊誌「ユーロマネー」はこの取り組みを評価し、BNPパリバを2年連続で2つの「最優秀銀行賞」（Best Bank for Sustainable Finance、Best Bank for ESG Data & Technology）に選出しています。

当グループは内部統制体制の強化も継続しています。

2022年度上半期において、グループ全体の営業収益は259億9,900万ユーロに上り、前年同期と比べて10.1%増の大幅増収でした。

事業部門の営業収益は好調な事業活動が寄与し、前年同期比11.6%増⁵でした。ホールセールバンキング（CIB）部門の営業収益は19.3%増⁶と大きく伸び、3事業がいずれも増収を達成しています。コマース&個人向けバンキング サービス（CPBS）部門の営業収益⁷は9.8%増⁸で、コマース&個人向けバンキング事業と専門的金融事業の力強い増収に牽引されました。インベストメント&プロテクションサービス（IPS）部門の営業収益は金融市場のパフォーマンスに左右される環境ながら1.0%増⁹を達成しています。

営業費用はグループ全体で当上半期は173億7,200万ユーロ、前年同期比10.2%増でした。当上半期の営業費用には、一時項目として、事業再編費用¹⁰と事業適応費用¹¹（5,400万ユーロ）、および、IT強化費用（1億3,200万ユーロ）が合計1億8,500万ユーロ含まれています（前年同期は1億4,800万ユーロ）。

¹ IAS 第29号「超インフレ経済下における財務報告」の適用とCPI連動債によるヘッジの効果を考慮し、現在は「他の営業外項目」に計上

² 資本要求指令4（CRD4）；国際財務報告基準（IFRS）第9号経過規定を含む

³ 欧州中央銀行（ECB）の2021年6月18日の決定によって認定されたユーロ中央銀行制度（ユーロシステム）への預金関連の一時的免除を選択せず、規則（EU）2019/876に従って算定

⁴ 再評価後

⁵ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+9.7%

⁶ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+14.5%

⁷ コマース&個人向けバンキング事業のプライベートバンキングの100%を含む（フランスのPEL/CELの影響を含む）

⁸ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+8.9%

⁹ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+1.2%

¹⁰ 特定の事業（特にCIB部門）の再編に関連

¹¹ 特にバンクウェストとCIB部門の事業適応策に関連

事業部門の営業費用は前年同期比**9.0%増¹**、ジョーズ効果は良好でした（+2.6ポイント）。CIB部門の営業費用は、事業開発の支援、連結範囲変更の影響、国際財務報告基準解釈指針委員会（IFRIC）第21号（以下「IFRIC21」）「賦課金」の増加により、**16.2%増²**でした。ジョーズ効果は高水準でした（+3.1ポイント）。CPBS部門の営業費用³は、コマーシャル&個人向けバンキング事業と専門的金融事業の事業活動の増加や連結範囲変更の影響を背景に**5.8%増**でした。ジョーズ効果は極めて良好でした（+4.0ポイント）。IPS部門の営業費用は**5.1%増⁴**で、主に事業開発支援や的を絞った取り組みで費用が嵩みました。

営業総利益は、グループ全体では当上半期に**86億2,700万ユーロ**に上り、前年同期比**10.1%増**、事業部門では同**16.5%増**の大幅増益でした。

リスク費用はグループ全体で**12億4,500万ユーロ**、前年同期に比べて**27.2%削減**、顧客向け融資残高の**27bp**相当と低水準で、特に**2022年度第1四半期**に行ったバンクウエストの正常債権（ステージ1と2）の引当解除を反映しています。

これらを受けて、営業利益はグループ全体で当上半期に**73億8,200万ユーロ**と前年同期比**20.5%増**、事業部門では同**27.8%増**の大幅増益でした。

営業外項目は、グループ全体で当上半期は**3億9,700万ユーロ**の利益でした（前年同期は**8億9,000万ユーロ**の利益）。当上半期は一時項目の利益が**1,500万ユーロ**に留まり、前年同期（**6億9,800万ユーロ**）に比べて大幅に減少しています。当上半期の営業外項目には、一時項目として、**bpost bank**の負ののれんから生じたプラス影響（+2億4,400万ユーロ）、持分売却による譲渡益（+2億400万ユーロ）、**Ukrsibbank**の証券の減損（-1億5,900万ユーロ）、為替差損益の再分類に伴うマイナス影響（-2億7,400万ユーロ）が含まれています。なお、前年同期の営業外項目には、一時項目として、建物売却による譲渡益（+3億200万ユーロ）、**BNPパリバ・アセットマネジメント**の持分売却による譲渡益（+9,600万ユーロ）、**Allfunds株売却⁵**による譲渡益（+3億ユーロ）が含まれていました。

税引前利益は、グループ全体で当上半期に**77億7,900万ユーロ**に上り、前年同期比**10.9%増**でした。トルコのハイパーインフレ⁶によって当上半期の税引前利益に生じた影響は全体的に限定的でした（+1,000万ユーロ）。

法人税率は平均で**26.0%**でした。これは主に**IFRIC 21**「賦課金」により生じる税金・拠出金が**第1四半期**に通年分の全額が計上され、その大半は税控除できないことによるものです。

以上から、株主帰属純利益はグループ全体で当上半期に**52億8,500万ユーロ**となり、前年同期と比べて**13.0%増**の大幅増益でした。一時項目を除くと**54億900万ユーロ**に上り、同**26.4%増**の力強い増益でした。

有形自己資本利益率（ROTE、再評価前）は当上半期に年率**12.4%**となり、当グループが多角的かつ統合的なビジネスモデルで生み出した堅実な業績を反映しています。

*
* *

¹ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと**+6.7%**

² 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと**+9.9%**

³ コマーシャル&個人向けバンキング事業のプライベートバンキングの**100%**を含む

⁴ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと**+4.7%**

⁵ **Allfunds**持分**6.7%**の売却

⁶ **IAS 第29号**「超インフレ経済下における財務報告」の適用と**CPI**連動債によるヘッジの効果を考慮し、現在は「他の営業外項目」に計上

ホールセールバンキング (CIB) 部門

CIB部門は当四半期に力強い増収・増益を果たしました。多角的かつ統合的なビジネスモデルを活かして事業活動は堅調で、お客様を支援する能力の向上も貢献しました。

CIB部門はEMEA¹地域で多様なプラットフォームを相次いで導入し、戦略的発展を2021~2022年度上半期に完了し、プレゼンスを強化しています。

お客様の取引需要は当四半期も債券・為替・コモディティデリバティブ市場で旺盛で、特に投資資金の再配分ニーズやヘッジニーズは第1四半期には既に顕著でした。株式取引は高水準で、発行市場はあまり活況ではなかったものの、デリバティブ取引のモメンタムが力強く、プライムサービスと現物株の取引も堅調でした。発行市場（シンジケートローン、債券、株式を含む）では世界的に顧客向けのファイナンス事業が前年同期比34%減少²しましたが、シンジケートローンの当四半期の組成金額は世界的に前四半期に比べて回復しています²。証券管理事業では事業活動が力強く、取引高は高水準でした。

CIB部門の営業収益は、当四半期は41億600万ユーロに上り、前年同期比10.6%増でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+5.6%）。グローバル・バンキング事業は不利な環境ながら増収を達成し（+0.8%）、グローバル・マーケット事業の増収は大幅で（+15.3%）、証券管理事業は力強い増収でした（+16.0%）。

グローバル・バンキング事業の営業収益は、当四半期は12億4,800万ユーロ、前年同期比0.8%増でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと-4.0%）。キャピタルマーケット事業のEMEA¹地域の業績は極めて不利な市場としては持ちこたえ（-25.5%）、市場シェアの向上も達成しています。トレードファイナンスとキャッシュマネジメントの営業収益は、3地域全てで事業活動が力強く伸び、前年同期比22.4%増の大幅増収でした。EMEA¹地域のM&A活動は市場が細る中で増収を達成しています。融資残高は1,760億ユーロ³と増え続けており（前年同期比+9.8%³、前四半期比+2.8%³）、預金残高は1,980億ユーロ³、前年同期比2.3%増³、前四半期比1.9%増³でした。

グローバル・マーケット事業の営業収益は、新体制の陣容に加え、顧客取引が全般的に堅調だったことから当四半期は21億9,600万ユーロに上り、前年同期比15.3%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+9.5%増）の力強い伸びでした。FICC事業⁴の営業収益は13億1,700万ユーロ、14.8%増と堅調でした。発行市場やクレジット市場の環境は有利ではなかったものの、債券・為替・コモディティデリバティブ市場の活況に牽引されました。株式・プライムサービス事業の営業収益は8億7,800万ユーロと16.1%増の大幅増収でした。増収要因は、堅調な顧客取引（特にエクイティデリバティブ）、BNP Paribas Exaneの業績寄与が約7,000万ユーロに上ったこと、プライムサービスからも多大な寄与が生じたことです。市場リスクの尺度であるバリュー・アット・リスク（VaR。保有期間1日、信頼区間99%）は、堅実なリスク管理が奏功し、前四半期比ほぼ横ばいの3,400万ユーロと低位でした。

証券管理事業の営業収益は当四半期は6億6,300万ユーロ、前年同期比16.0%増でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+13.6%）。取引手数料の増加に加え、金利環境も寄与しました。当四半期は取引高の大幅増を達成しています（前年同期比+15.1%）。市場環境は不利でしたが、2021年から2022年上半期にかけて新規大型マンドートを獲得でき、預かり資産はよく持ちこたえています。預かり資産の平均残高は微減でしたが（前年同期比-1.4%）、当四半期に市場が下落した悪影響を被り、期末残高の方が減少幅は拡大しました（同-6.8%）。

¹ EMEA：欧州、中東、アフリカ

² 出所：Dealogic社、2022年6月末時点

³ 平均残高（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く）

⁴ Fixed Income, Currencies, and Commodities（債券、為替、コモディティ）

CIB部門の営業費用は、当四半期は事業活動の伸びや事業の拡大に伴って23億1,400万ユーロに膨らみ、前年同期比13.3%増でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+5.0%）。ジョーズ効果は連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと正でした（+0.6ポイント）。

これらを受けて、CIB部門の営業総利益は当四半期に17億9,200万ユーロとなり、前年同期比7.2%増でした。

CIB部門のリスク費用は、当四半期は7,600万ユーロと低位でした。グローバル・バンキング事業では、リスク費用は8,500万ユーロでした（前年同期は正常債権の引当解除により6,400万ユーロ）。

以上から、CIB部門の税引前利益は当四半期に17億2,400万ユーロとなり、前年同期比5.3%増でした。

2022年度上半期において、CIB部門の営業収益は88億900万ユーロ、前年同期比19.3%増の大幅増収でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+14.5%）。増収の要因は、事業の多角化やプラットフォームの開発です。3事業全てで増収を果たし、グローバル・マーケット事業は33.8%増、グローバル・バンキング事業は1.4%増、証券管理部門は10.7%増でした。

グローバル・バンキング事業の営業収益は当上半期は25億1,600万ユーロ、前年同期比1.4%増でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと-2.4%）。不利な環境ながら健闘した成果であり、市場シェアの一段の向上も達成しています。

グローバル・マーケット事業の営業収益は当上半期は50億1,700万ユーロ、前年同期比33.8%増の大幅増収でした。FICC事業¹の営業収益は30億1,700万ユーロ、31.4%増でした。お客様の取引需要の力強い増加、特に債券・為替・新興市場・コモディティデリバティブの再配分ニーズやヘッジニーズに牽引されました。株式・プライムサービス事業の営業収益は20億ユーロ、37.6%増で、株式市場の取引高（特にデリバティブ）が高水準だったことが増収要因となりました。

証券管理事業の営業収益は、当上半期は12億7,600万ユーロ、前年同期比10.7%増でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+8.8%）。預かり資産の平均残高の増加、取引高の急増、金利環境の影響が増収に寄与しました。

CIB部門の営業費用は当上半期に56億6,800万ユーロとなり、前年同期比16.2%増でした。事業活動の力強い伸びに伴う費用増、連結範囲変更の影響、IFRIC 21「賦課金」の増加が押し上げ要因となりました。ジョーズ効果は高水準でした（+3.1ポイント）。

これらを受けて、CIB部門の営業総利益は当上半期に31億4,100万ユーロに上り、前年同期比25.3%増の高い伸びでした。

CIB部門のリスク費用は当上半期は7,800万ユーロと低位で、高水準だった前年同期（特に第1四半期）比で1億5,100万ユーロの削減です。

以上から、CIB部門の税引前利益は当上半期に30億7,700万ユーロに達し、前年同期比32.6%増でした。

*
* *

¹ Fixed Income, Currencies, and Commodities（債券、為替、コモディティ）



コマーシャル&個人向けバンキング サービス (CPBS) 部門

CPBS部門の業績は大きく上向き、ジョーズ効果は極めて良好でした。コマーシャル&個人向けバンキング事業は好調で、専門的金融事業は力強く伸長しています。融資残高は6,670億ユーロと前年同期比7.0%増、預金残高は6,450億ユーロと同7.5%増でした。プライベートバンキングへの当四半期の資金純流入は旺盛で、34億ユーロ近傍に達しました。CPBS部門はオペレーティングモデルの変革を継続しています。

営業収益¹は、当四半期は71億8,400万ユーロ、前年同期比11.1%増でした。コマーシャル&個人向けバンキング事業の営業収益は純利息収入や手数料収入の増加によって順調に伸び(+9.4%)、ユーロ圏の増収は力強く(+7.2%)、欧州・地中海沿岸諸国は大幅増収でした(連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除いた場合、+50.7%)。専門的金融事業の営業収益も前年同期比14.4%増²と堅調でした。

営業費用¹は当四半期は事業開発支援で嵩み、42億6,300万ユーロと前年同期比6.5%増でした。ジョーズ効果は極めて良好でした(+4.5ポイント)。

これらを受けて、営業総利益¹は当四半期は29億2,100万ユーロ、前年同期比18.5%増の大幅増益でした。

リスク費用¹は当四半期は6億4,500万ユーロとし、前年同期比7.1%削減しています。

以上から、プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業(インベストメント&プロテクションサービス部門)へ配分した後、CPBS部門の税引前利益³は当四半期に23億7,800万ユーロとなり、前年同期比34.9%増の大幅増益でした。トルコのハイパーインフレ⁴によって税引前利益に生じた影響は全体的に良好かつ限定的でした(+2,300万ユーロ¹)。

2022年度上半期において、CPBS部門の営業収益⁵は141億6,300万ユーロ、前年同期に比べて9.8%増の力強い増収でした。営業収益は、コマーシャル&個人向けバンキング事業の好調に牽引され(ユーロ圏の増収は継続し、欧州・地中海沿岸諸国も大幅増収)、また、専門的金融事業の増収も大きく貢献しました(アルバの伸びは高く、リーシング・ソリューションズの伸びは力強く、パーソナル・ファイナンスも高水準)。営業費用⁵は事業活動の増加に伴って嵩み、91億1,200万ユーロ、前年同期比5.8%増でした。ジョーズ効果は高水準でした(+4.0ポイント)。これらを受けて、営業総利益⁵は50億5,100万ユーロ、前年同期比17.8%増の大幅増益でした。リスク費用⁵は10億4,600万ユーロで、主にバンクウエストの第1四半期の引当解除により前年同期比23.2%の削減となりました。以上から、プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業(インベストメント&プロテクションサービス部門)へ配分した後、CPBS部門の税引前利益³は当上半期に41億3,900万ユーロとなり、前年同期比44.1%増の大幅増益でした。トルコのハイパーインフレ⁴によって当上半期の税引前利益に生じた影響は全体的に良好かつ限定的でした(+2,300万ユーロ¹)。

¹ コマーシャル&個人向けバンキング事業のプライベートバンキングの100%を含み、PEL/CELの影響(2022年度第2四半期は+1,400万ユーロ、2021年度第1四半期は+1,900万ユーロ)を含む

² 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと、前年同期比+11.2%

³ コマーシャル&個人向けバンキング事業のプライベートバンキングの3分の2を含む(PEL/CELの影響を含む)

⁴ IAS 第29号「超インフレ経済下における財務報告」の適用とCPI連動債によるヘッジの効果を考慮し、現在は「他の営業外項目」に計上

⁵ コマーシャル&個人向けバンキング事業のプライベートバンキングの100%を含み、PEL/CELの影響(2022年度上半期は+2,500万ユーロ、2021年度上半期は+2,100万ユーロ)を含む

フランスのコマーシャル&個人向けバンキング (CPBF)

CPBFの当四半期の事業活動は顧客セグメント全てで増加しました。融資残高は前年同期比4.5%増え、法人向け投資用ローンの伸びが高水準だったほか、住宅ローンや消費者ローンの伸びも堅調でした。預金残高は前年同期比5.7%増え、法人・個人双方の預金が増加しています。オフバランス貯蓄商品は2021年6月末比3.0%減で、不利な市場環境が響きました。プライベートバンキングへの資金純流入は22億ユーロと堅調で、主に新規顧客の獲得や起業家との既存関係の拡充が奏功しました。

営業収益¹は当四半期は17億2,800万ユーロ、前年同期比7.6%増と力強い伸びでした。純利息収入¹は6.9%増と堅調で、貸出の伸びに加え、金利・市場環境の影響も受けました。手数料収入¹も8.3%増と大きく伸び、顧客セグメント全てで増加しています。

営業費用¹は当四半期は11億1,700万ユーロ、前年同期比3.9%増でした。事業活動の伸長に伴って嵩みましたが、抑制も図っています。ジョーズ効果は高水準でした (+3.6ポイント)。

これらを受けて、営業総利益¹は当四半期に合計6億1,200万ユーロに上り、前年同期比14.9%増の大幅増益でした。

リスク費用¹は、当四半期は6,400万ユーロ (前年同期比3,700万ユーロの削減)、顧客向け融資残高の12bp相当とごく低位でした。

以上から、フランス国内プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業 (インベストメント&プロテクションサービス部門) へ配分した後、CPBFの税引前利益²は当四半期に5億3,100万ユーロに達し、前年同期比33.2%の大幅増益でした。

2022年度上半期において、CPBFの営業収益³は33億4,200万ユーロ、前年同期比8.2%増でした。純利息収入³は貸出の増加や金利・市場環境の好影響により6.6%増、手数料収入³は10.1%増で顧客セグメント全てが大幅増となりました。営業費用³は事業開発に伴って嵩み、23億5,600万ユーロと前年同期比4.7%増でした。ジョーズ効果は極めて良好でした (+3.5ポイント)。これらを受けて、営業総利益³は9億8,600万ユーロに上り、前年同期比17.7%の増益です。リスク費用³は1億5,700万ユーロ (前年同期は2億2,600万ユーロ)、顧客向け融資残高の14bp相当と低位でした。以上から、フランス国内プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業 (インベストメント&プロテクションサービス部門) へ配分した後、CPBFの税引前利益²は当上半期に7億8,200万ユーロに達し、前年同期比41.5%増でした。

¹ フランス国内プライベートバンキングの100%を含み、PEL/CELの影響 (2022年度第2四半期は+1,400万ユーロ、2021年度第2四半期は+1,900万ユーロ) を含む

² フランス国内プライベートバンキングの3分の2を含む (PEL/CELの影響を含む)

³ フランス国内プライベートバンキングの100%を含み、PEL/CELの影響 (2022年度上半期は+2,500万ユーロ、2021年度上半期は+2,100万ユーロ) を含む

BNLバンカ・コメルシアーレ (BNL bc)

BNL bcの当四半期の事業活動は堅調でした。融資残高は前年同期比2.6%増、不良債権を除くと同5.0%増で、住宅ローンと法人向け貸出が好調でした。預金残高は前年同期比11.3%増え、顧客セグメント全てで大きく伸びています。オフバランス貯蓄商品は2021年6月末比2.7%減で、不利な市場環境が響きました。生命保険保有契約高は2021年6月末比4.0%増です。プライベートバンキングへの資金純流入は当四半期は小幅でした。BNL bcはオペレーティングモデルの革変を継続し、一定のバックオフィス業務をアウトソースしています。

営業収益¹は、2022年1月2日付けの事業売却により、当四半期は6億7,100万ユーロ、前年同期比0.3%増に留まりました（連結範囲の変更による影響を除くと+1.8%）。純利息収入¹は貸出の増加にもかかわらずほぼ横ばいでした（+0.1%）。手数料収入¹は、銀行手数料（特に法人顧客）の増加により0.6%増です（連結範囲変更²による影響を除くと+4.2%）。

営業費用¹は当四半期は4億1,600万ユーロに留まり、前年同期比4.2%減、連結範囲変更²による影響を除くと同2.2%減でした。オペレーティングモデルの変革や事業適応策（イタリアの年金改革「クオータ100」を活用した早期退職制度を含む）の効果により、営業費用は減少しています。ジョーズ効果は極めて良好でした（+4.5ポイント）。

これらを受けて、営業総利益¹は当四半期に2億5,500万ユーロとなり、前年同期比8.7%増の大幅増益でした。

リスク費用¹は、当四半期は1億1,000万ユーロ（前年同期比500万ユーロ増）、顧客向け融資残高の55bp相当と低く、不良債権（ステージ3）の引当低減を反映しています。

以上から、イタリア国内プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（インベストメント&プロテクションサービス部門）へ配分した後、BNL bcの税引前利益³は当四半期に1億3,900万ユーロとなり、前年同期比15.8%増の大幅増益でした。

2022年度上半期において、BNL bcの営業収益¹は13億2,600万ユーロ、前年同期比1.4%減でした（連結範囲変更²による影響を除くと-0.1%）。純利息収入¹は貸出の増加にもかかわらず2.1%減でした。手数料収入¹は0.4%減でしたが、銀行手数料（特に法人顧客）の増加により、連結範囲変更²による影響を除くと2.9%増でした。営業費用¹は8億7,000万ユーロに留まり、2.6%減⁴です。主にオペレーティングモデルの変革や事業適応策（イタリアの年金改革「クオータ100」を活用した早期退職制度を含む）が奏功しています。ジョーズ効果は正でした（+1.2ポイント）。これらを受けて、営業総利益¹は4億5,600万ユーロ、0.9%増でした。リスク費用¹は2億3,700万ユーロ（前年同期比2,300万ユーロ増）と小幅悪化しましたが、新たな債務不履行は少なく、顧客向け融資残高の59bp相当と依然低位でした。以上から、イタリア国内プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（インベストメント&プロテクションサービス部門）へ配分した後、BNL bcの税引前利益³は当上半期に2億500万ユーロとなり、前年同期比6.5%減でした。

¹ イタリア国内プライベートバンキングの100%を含む

² 2022年1月2日付けの事業売却

³ イタリア国内プライベートバンキングの3分の2を含む

⁴ 連結範囲の変更による影響を除くと-0.7%



ベルギーのコマーシャル&個人向けバンキング (CPBB)

CPBBの当四半期の事業活動は好調でした。融資残高は前年同期比**15.4%**増え（連結範囲の変更および為替レート変動による影響¹を除くと**+8.1%**、法人向け貸出の大幅増と個人向け貸出（特に住宅ローン）の伸びが寄与しました。預金残高は前年同期比**8.7%**増でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響¹を除くと**+0.8%**）。オフバランス貯蓄商品は市場動向により**2021年6月末比3.1%**減でしたが、プライベートバンキングには**6億ユーロ**に上る資金純流入が見られました。

営業収益²は、当四半期は**9億6,500万ユーロ**、前年同期比**11.8%**増の大幅増収でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと**+6.6%**）。純利息収入²は、貸出の伸びに加え専門的金融業務を手掛ける子会社からの寄与もあり**14.9%**増でした。手数料収入²は、銀行手数料が顧客セグメント全てで増え、**5.0%**増でした。

営業費用²は当四半期は**5億5,400万ユーロ**、前年同期比**13.4%**増で、費用増の要因は事業開発の支援、連結範囲の変更¹、前年同期のIFRIC 21「賦課金」の影響でした。連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除き、IFRIC 21に基づく「賦課金」の影響も除くとジョーズ効果は高水準で（**+2.5ポイント**）、コスト節減策や支店網最適化策の効果を反映しています。

これらを受けて、営業総利益²は当四半期は**4億1,200万ユーロ**、前年同期比**9.7%**増の大幅増益でした。

リスク費用²は当四半期は**1,600万ユーロ**（前年同期比**2,800万ユーロ**の削減）、顧客向け融資残高の**5bp**相当とごく低水準でした。

以上から、ベルギー国内プライベートバンキング業務の純利益の**3分の1**をウェルス・マネジメント事業（インベストメント&プロテクションサービス部門）へ配分した後、CPBBの税引前利益³は当四半期に**3億7,900万ユーロ**に上り、前年同期比**20.4%**増の大幅増益でした。

2022年度上半期において、CPBBの営業収益²は19億ユーロ、前年同期比**10.3%**増の大幅増収でした。純利息収入²は**11.5%**増で、主に法人セグメントの事業活動の伸びや個人向け貸出の増加が貢献しました。手数料収入²は顧客セグメント全てで大幅に増え、**7.8%**増でした。営業費用²は**14億5,900万ユーロ**、前年同期比**9.4%**増で、費用増の要因は事業開発の支援、連結範囲の変更¹、IFRIC 21「賦課金」の増加でした。ジョーズ効果は正でした（**+0.9ポイント**）。これらを受けて、営業総利益²は**4億4,200万ユーロ**、**13.5%**増の大幅増益でした。リスク費用²は、不良債権（ステージ3）の引当を削減して**100万ユーロ**に留め（前年同期比**9,300万ユーロ**の大幅削減）、顧客向け融資残高の**0bp**相当とごく低位でした。以上から、ベルギー国内プライベートバンキング業務の純利益の**3分の1**をウェルス・マネジメント事業（インベストメント&プロテクションサービス部門）へ配分した後、CPBBの税引前利益³は当上半期に**4億2,100万ユーロ**に達し、営業総利益の堅調な伸びとリスク費用の削減を反映し、前年同期比**56.1%**増を果たしました。

¹ bpost bankを2022年1月1日付けで統合

² ベルギー国内プライベートバンキングの100%を含む

³ ベルギー国内プライベートバンキングの3分の2を含む

ルクセンブルクのコマーシャル&個人向けバンキング (CPBL)

CPBLの当四半期の事業活動は好調でした。融資残高は住宅ローンや法人向け貸出の増加により前年同期比6.6%増、預金残高は同11.0%増でした。オフバランス貯蓄商品は金融市場の不利な展開により2021年6月末比8.0%減でした。

営業収益¹は当四半期は1億1,400万ユーロ、前年同期比7.1%増でした。純利息収入¹は取引高の増加で押し上げられ5.5%増、手数料収入¹は総じて順調に伸び13.7%増と急増しています。

営業費用¹は、当四半期は事業開発の支援で嵩み6,600万ユーロ、前年同期比2.7%増でした。ジョーズ効果は極めて高水準でした (+4.4ポイント)。

これらを受けて、営業総利益¹は当四半期に4,800万ユーロとなり、前年同期比13.7%増の大幅増益でした。

リスク費用¹は300万ユーロの引当解除 (前年同期の解除は100万ユーロ) に伴い、ごく低水準でした。

以上から、ルクセンブルク国内プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業 (インベストメント&プロテクションサービス部門) へ配分した後、CPBLは当四半期に税引前利益²4,900万ユーロを生み出しました (前年同期は4,200万ユーロ)。

2022年度上半期において、CPBLの営業収益¹は2億2,800万ユーロ、前年同期比10.5%増の力強い増収でした。純利息収入¹は取引高の増加で押し上げられ7.1%増、手数料収入¹は特に金融手数料が好調で24.6%増の大幅な伸びでした。営業費用¹は事業活動の増加に伴って嵩み、1億4,600万ユーロと前年同期比2.2%増でした。ジョーズ効果は極めて高水準でした (+8.3ポイント)。リスク費用¹は800万ユーロの引当解除 (前年同期の解除は200万ユーロ) に伴い、ごく低水準です。以上から、ルクセンブルク国内プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業 (インベストメント&プロテクションサービス部門) へ配分した後、CPBLは当上半期に税引前利益²8,900万ユーロを達成しています (前年同期は6,300万ユーロ)。

¹ ルクセンブルク国内プライベートバンキングの100%を含む

² ルクセンブルク国内プライベートバンキングの3分の2を含む

欧州・地中海沿岸諸国

欧州・地中海沿岸諸国の当四半期の業績は事業活動の好調さを裏付けました。融資残高は前年同期比**21.8%**増¹でした。ポーランドとトルコの顧客セグメント全てで力強く伸び、特に法人顧客で顕著な伸びがみられました。預金残高は前年同期比**22.2%**増¹で、ポーランドとトルコで共に増加しています。また、手数料収入もセグメント全てで着実に伸びています。

欧州・地中海沿岸諸国の営業収益²は、当四半期は**5億6,600万ユーロ**、前年同期比**50.7%**増¹の大幅増収でした。純利息収入が力強く伸び、手数料収入の伸びも更に堅調でした。

営業費用²は、当四半期は**4億1,800万ユーロ**、前年同期比**30.0%**増¹で、費用増の主因はインフレに加え、将来の拠出を見越した一時的な拠出増でした。ジョーズ効果は極めて高水準でした（**+20.7**ポイント¹）。

これらを受けて、営業総利益²は当四半期に**1億4,800万ユーロ**に達し、前年同期（**7,100万ユーロ**）比で**3倍¹**に上っています。

リスク費用²は当四半期は**4,800万ユーロ**（前年同期比**1,000万ユーロ**の削減）、顧客向け融資残高の**53bp**相当でした。マクロ経済・地政学的状況に伴う正常債権（ステージ1と2）の引当増（**+8,300万ユーロ**）を他の正常債権（ステージ1と2）の引当解除で一部相殺し、引き続き低位でした。

以上から、トルコおよびポーランドの国内プライベートバンキング業務の純利益の**3分の1**をウェルス・マネジメント事業（インベストメント&プロテクションサービス部門）へ配分した後、欧州・地中海沿岸諸国の税引前利益³は当四半期に**2億ユーロ**に達し、前年同期比**114.3%**増¹の大幅増益でした。トルコのハイパーインフレ⁴により当四半期に影響が現れ（営業収益は**+3,500万ユーロ²**、他の営業外項目は**-3,100万ユーロ²**）、税引前利益には合計でマイナス影響（**-1,200万ユーロ²**）が生じましたが、十二分に補うことができました。

2022年度上半期において、欧州・地中海沿岸諸国の営業収益²は、利息収入の力強い伸びに牽引され**12億500万ユーロ**に上り、前年同期比**48.2%**増¹の大幅増収でした。営業費用²は**8億4,000万ユーロ**、前年同期比**20.2%**増¹でしたが、ジョーズ効果は高水準でした。これらを受けて、営業総利益²は前年同期比**2億1,300万ユーロ**増え、**3億6,500万ユーロ**に上りました。リスク費用²は**8,700万ユーロ**に削減しています（前年同期は**9,700万ユーロ**）。以上から、トルコおよびポーランドの国内プライベートバンキング業務の純利益の**3分の1**をウェルス・マネジメント事業（インベストメント&プロテクションサービス部門）へ配分した後、欧州・地中海沿岸諸国の税引前利益³は当上半期に**4億4,500万ユーロ**に達し、前年同期の水準の**2.6倍¹**でした。トルコのハイパーインフレ⁴により当四半期の税引前利益に合計でマイナス影響（**-1,200万ユーロ²**）が生じましたが、十二分に補うことができました。

¹ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く

² トルコおよびポーランドの国内プライベートバンキングの**100%**を含む

³ トルコおよびポーランドの国内プライベートバンキングの**3分の2**を含む

⁴ IAS 第29号「超インフレ経済下における財務報告」の適用とCPI連動債によるヘッジの効果を考慮し、現在は「他の営業外項目」に計上

バンクウエスト

バンクウエストは当四半期も高水準の事業活動を維持しました。ローン組成は好調で（前年同期比+7.1%¹）、法人向け貸出の大幅増や高水準の住宅ローン組成に牽引されました。ただし、融資残高は前年同期比0.7%減²で、米国政府の中小企業支援策「ペイチェック・プロテクション・プログラム（PPP）」の終了や2020年の事業休止の影響を被りました。預金残高は前年同期比5.5%減²でした（顧客預金³は-5.0%²、特にマネーマーケット預金）。プライベートバンキング業務の運用資産残高は2022年6月末時点で185億ドルに上り、2021年6月末比で2.0%増加²しています。なお、2021年12月20日、当グループは米国子会社Bank of the WestをBMO Financial Groupへ売却することを発表しており、取引完了は2022年後半を予定しています⁴。

バンクウエストの営業収益⁵は当四半期は6億5,700万ユーロ、前年同期比1.1%減²でした。特に「ペイチェック・プロテクション・プログラム（PPP）」の終了や2020年の事業休止が響きました。

営業費用⁵は目標を絞ったプロジェクトに伴って膨らみ、当四半期は4億9,500万ユーロ、前年同期比8.3%増²でした。

これらを受けて、営業総利益⁵は当四半期は1億6,200万ユーロ、前年同期比22.0%減²でした。

リスク費用⁵は当四半期は3,000万ユーロ（前年同期比2,100万ユーロ増）、顧客向け融資残高の23bp相当と低位でした。

以上から、米国プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（インベストメント&プロテクションサービス部門）に配分した後、バンクウエストの税引前利益⁶は当四半期は1億2,300万ユーロ、前年同期比36.9%減²でした。

2021年度上半期において、バンクウエストの営業収益⁵は12億7,500万ユーロ、前年同期比4.5%減²となり（2021年からの非経常的項目の影響を除くと-0.5%²）、主に「ペイチェック・プロテクション・プログラム（PPP）」の終了や2020年の事業休止が響きました。営業費用⁵は特に目標を絞ったプロジェクトに伴って膨らみ、9億7,000万ユーロ、8.3%増²です。これらを受けて、営業総利益⁵は3億600万ユーロ、前年同期比30.6%減²でした。リスク費用⁵は、2022年度第1四半期に健康危機関連の引当を解除したことが主に奏功し、1億6,400万ユーロの大幅削減となりました。以上から、米国プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（インベストメント&プロテクションサービス部門）に配分した後、バンクウエストの税引前利益⁶は当上半期に4億5,300万ユーロに上り、前年同期比5.6%増²の増益を果たしました。

¹ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除き、「ペイチェック・プロテクション・プログラム（PPP）」関連融資を除く

² 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く

³ 財務活動に関わる預金を除く

⁴ 通常の条件に準ずる（関係規制当局や独占禁止法規制当局による承認を含む）。2021年12月20日付けプレスリリースを参照されたい。

⁵ 米国プライベートバンキングの100%を含む

⁶ 米国プライベートバンキングの3分の2を含む

専門的金融事業—パーソナル・ファイナンス

パーソナル・ファイナンスの当四半期の事業活動は順調でした。融資残高は、Floa（2022年2月1日から連結）の融資残高の50%を含めると前年同期比2.7%増、除いた場合には同1.6%増でした。ローン組成は、自動車セクターでは不利な環境だったものの特に四半期終盤は活発で、Floaの融資残高の50%を含めると前年同期比8.9%増、除いた場合には同5.6%増でした。

パーソナル・ファイナンスの営業収益は当四半期に13億7,100万ユーロとなり、前年同期比3.9%増でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+0.7%）。取引高の増加やローン組成の伸びが寄与しました。

営業費用は事業開発の支援に伴って膨らみ、当四半期は7億1,800万ユーロ、前年同期比2.6%増でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+0.2%）。ジョーズ効果は正でした（+1.3ポイント）。

これらを受けて、営業総利益は当四半期は6億5,300万ユーロ、前年同期比5.4%増でした。

リスク費用は、当四半期に3,500万ユーロ削減し、3億900万ユーロでした。この中には特にインフレ高進関連の予想損失の事前引当1億3,700万ユーロが含まれていますが、健康危機関連の引当解除1億5,900万ユーロで相殺されています。当四半期のリスク費用は顧客向け融資残高の129bp相当と低位で、リスクプロファイルの継続的な改善に加え、効果的な延滞債権管理や債権回収の高実績維持が貢献しています。

以上から、パーソナル・ファイナンスの税引前利益は当四半期に3億5,800万ユーロに上り、前年同期比35.3%増の大幅増益でした。

2022年度上半期において、パーソナル・ファイナンスの営業収益は27億5,900万ユーロ、前年同期比4.1%増でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+1.4%）。増収の主因は取引高の増加やローン組成の顕著な回復です。営業費用は主に事業開発の支援に伴って14億9,400万ユーロとなり、前年同期比3.0%増でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+0.7%）。ジョーズ効果は正でした（+1.1ポイント）。これらを受けて、営業総利益は12億6,600万ユーロ、前年同期比5.4%増でした。リスク費用は前年同期比で4,100万ユーロ削減し、6億2,400万ユーロです。以上から、パーソナル・ファイナンスの税引前利益は、リスク費用の削減が貢献し、当上半期に6億7,000万ユーロに上り、前年同期比23.6%増の大幅増益でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+19.9%）。

専門的金融事業—アルバルとリーシング・ソリューションズ

アルバルとリーシング・ソリューションズの当四半期の事業活動は好調でした。

アルバルのファイナンスフリートの契約台数は前年同期比5.9%増¹でした。中古車価格は高水準を維持しています。リーシング・ソリューションズのファイナンスリース残高は前年同期比3.6%増²で、商業用のモメンタムが堅調でした。

アルバルとリーシング・ソリューションズの営業収益は、当四半期に8億9,500万ユーロに上り、前年同期比33.6%増の力強い増収でした。アルバルの好業績（高水準の中古車価格が貢献）に加え、リーシング・ソリューションズの契約残高の伸びも増収につながりました。

営業費用は当四半期は3億4,100万ユーロ、前年同期比6.9%増でした。ジョーズ効果は極めて高水準で（+26.7ポイント）、低コストで成長できる力や生産性の向上を反映しています。

これらを受けて、営業総利益は当四半期に5億5,300万ユーロに達し、前年同期比57.9%増を果たしました。

¹ 平均フリート台数の増加（千台）

² 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く



以上から、両事業の税引前利益は当四半期に5億4,500万ユーロに達し、前年同期比72.0%増でした。この中には、トルコのハイパーインフレ¹により当四半期の他の営業外項目に生じたプラスの影響（+4,000万ユーロ）が含まれています。

2022年度上半期において、アルバルとリーシング・ソリューションズの営業収益は17億500万ユーロ、前年同期比30.4%増でした。両事業とも増収を果たし、アルバルではファイナンスフリート契約台数のオーガニック成長と中古車価格の高さが貢献し、リーシング・ソリューションズではファイナンスリース残高の伸びが寄与しました。営業費用は7億700万ユーロ、前年同期比7.7%増でした。ジョーズ効果は極めて高水準で（+22.7ポイント）、低コストで成長できる力や生産性の向上を反映しています。以上から、アルバルとリーシング・ソリューションズの税引前利益は当上半期に9億6500万ユーロに達し、前年同期比64.1%増の大幅増益でした。この中には、トルコのハイパーインフレ¹により当上半期の他の営業外項目に生じたプラスの影響（+4,000万ユーロ）が含まれています。

専門的金融事業—ニューデジタル事業（Nickel、Floa、Lyf）と個人投資家事業

ニューデジタル事業と個人投資家事業は当四半期に全体的に好成果を残しています。Nickelは「新世代」決済の提供をベルギーで開始し、フランスとスペインでは提供拡大を継続し、口座開設はハイペースで進んでおり²、2022年6月末時点の口座開設数は270万に達し、販売店は7,500カ所を超えています³。当グループはフランスの後払い決済最大手Floaの買収を2022年1月31日に完了しています。Floaの顧客は当四半期に400万人に上り（2021年6月末比+27.4%）、ローン組成は急拡大しており（前年同期比+17.7%）、その業績の50%は2022年2月1日からニューデジタル事業に連結されています。個人投資家事業では、市場環境が不利な中で顧客数が力強く増え（前年同期比+6.6%）、注文数は高水準を維持しています。

ニューデジタル事業と個人投資家事業を合算した営業収益⁴は、当四半期は2億1,700万ユーロ、前年同期比20.0%増の大幅増収でした。ニューデジタル事業の増収要因は事業開発でした。個人投資家事業の営業収益⁴は不利な市場環境により小幅減⁵でした。

営業費用⁴は当四半期は1億3,900万ユーロ、前年同期比14.4%増で、ニューデジタル事業の事業開発戦略で高まりました。ジョーズ効果は良好でした（+5.6ポイント）。

これらを受けて、両事業の営業総利益⁴は当四半期に7,700万ユーロに達し、前年同期比31.7%増の大幅増益です。

リスク費用⁴は当四半期は2,300万ユーロでした（前年同期は100万ユーロ）。Floaのリスク費用の50%が2022年2月1日から連結されています。

以上から、ドイツ国内プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（インベストメント&プロテクションサービス部門）に配分した後、ニューデジタル事業と個人投資家事業の税引前利益⁶は当四半期は5,200万ユーロ、前年同期比4.1%減でした。

2022年度上半期において、ニューデジタル事業と個人投資家事業の営業収益⁴は4億2,200万ユーロに上り、前年同期比10.1%増でした。Nickelの力強い拡大に加え、個人投資家事業の営業収益が高水準で正常化したことが大幅増収につながりました。営業費用⁴は2億7,100万ユーロ、前年同期比12.9%増でした。費用増の要因はニューデジタル事業の事業開発費用や立ち上げ費用です。これらを受けて、営業総利益⁴は1億5,000万ユーロ、前年同期比5.4%増でした。リスク費用⁴はFloa関連の引当のため3,500万ユーロ増でした。以上から、ドイツ国内プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（インベストメント&プロテクションサービス部門）に配分した後、ニューデジタル事業と個人投資家事業の税引前利益は当上半期は1億1,000万ユーロ、前年同期比17.4%減でした。

¹ IAS第29号を適用

² フランスとスペインの2022年度第2四半期の平均

³ フランスとスペインで設定来

⁴ ドイツ国内プライベートバンキングの100%を含む

⁵ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く

⁶ ドイツ国内プライベートバンキングの3分の2を含む

インベストメント&プロテクションサービス (IPS) 部門

IPS部門の当四半期の事業活動は全体的に好調でした。市場環境は不利でしたが、当四半期の資金流入は純流入(90億ユーロ)を維持しました。保険事業の基調は良好で、不動産管理事業はアドバイザー業務に牽引されて拡大しています。

IPS部門の営業収益は当四半期は17億2,300万ユーロ、前年同期比2.2%増でした。アセット・マネジメント事業の営業収益は不利な市場環境の煽りを受けましたが、保険事業、ウェルス・マネジメント事業、不動産管理事業の増収で十分に相殺されました。

営業費用は当四半期は10億6,800万ユーロでした。事業開発の支援や目標を絞った取り組みで嵩み、前年同期比6.7%増でした。

これらを受けて、営業総利益は当四半期は6億5,500万ユーロ、前年同期比4.3%減でした。

IPS部門の税引前利益は当四半期に7億2,900万ユーロとなり、前年同期比1.1%増でした。前年同期の税引前利益には関連会社の利益寄与や持分売却による譲渡益が含まれていました。

2022年度上半期において、IPS部門の営業収益は前年同期比1.0%増でした。ウェルス・マネジメント事業と不動産管理事業の増収に加え、保険事業では金融市場の下落が運用成績に及ぼした影響を譲渡益で一部相殺できました。アセット・マネジメント事業¹の営業収益は、極めて不利な市場環境下でほぼ横ばいでした。営業費用は21億1,900万ユーロ、前年同期比5.1%増です。主に事業開発の支援や目標を絞った取り組みに伴って膨らみました。これらを受けて、営業総利益は12億5,400万ユーロ、前年同期比5.1%減でした。IPS部門の税引前利益は当上半期に14億1,100万ユーロとなり、前年同期比5.6%減でした。減益は高水準だった前年同期(アセット・マネジメント事業が保有していた持分の売却が貢献)との比較によるもので、当四半期は関連会社の寄与が増え、譲渡益も計上しています。

資金純流入と運用資産残高

IPS部門の運用資産残高²は2022年6月末現在1兆1,980億ユーロで、2021年12月末比0.6%減でした。昨年末比で減少した主因は市場動向で生じた不利な影響で(-1,177億ユーロ)、その一部は有利な為替レート変動の影響(+176億ユーロ)と有利な連結範囲変更の影響(+120億ユーロ)で相殺されました。有利な連結範囲変更は、主にオランダのDynamic Credit Groupの買収とインドでの新たな提携です。

当上半期の資金流入は全体で純流入を維持しました(+90億ユーロ)。ウェルス・マネジメント事業への資金純流入は順調で、欧州(特にフランスとドイツ)の堅調な事業活動が貢献しました。保険事業の資金純流入は高水準で、特にユニットリンク保険が好調で、中でもフランスで資金流入が旺盛でした。アセット・マネジメント事業では、マネー・マーケット・ファンドから多額の資金が流出し、当上半期に資金純流出を記録しましたが、当四半期中長期ファンドで資金純流入が見られ、一部相殺しています。

運用資産残高²の2022年6月末現在の内訳は、アセット・マネジメント事業(Real Estate Investment Management)の300億ユーロ、プリンシパル・インベストメントの10億ユーロを含むは5,310億ユーロ、ウェルス・マネジメント事業が4,110億ユーロ、保険事業は2,550億ユーロでした。

¹ プリンシパル・インベストメントを含む

² 分配金を含む

保険事業

保険事業の事業活動は引き続き極めて堅調でした。貯蓄型保険はフランス国内外ともに高実績を維持し、資金流入は増え（前年同期比+6.9%）、ユニットリンク保険が資金純流入の大半を占めました。保障保険の販売はフランス国内で伸びを続け、とりわけ人身傷害補償保険や損害保険が好調で（Cardif IARD）、国際的にも特に南米とアジアで堅調でした。

保険事業の営業収益は、貯蓄型保険と保障保険の好調により、当四半期は7億8,700万ユーロ、前年同期比2.7%増でした。金融市場の下落が運用成績に及ぼした影響は譲渡益で一部相殺できました。

営業費用は事業開発の支援や目標を絞ったプロジェクトの推進に伴って膨らみ、当四半期は3億9,600万ユーロ、前年同期比7.8%増でした。

保険事業の税引前利益は当四半期は4億5,300万ユーロ、前年同期比6.8%増でした。関連会社の高水準の寄与や事業売却による譲渡益が貢献しました。

2022年度上半期において、保険事業の営業収益は15億800万ユーロ、前年同期比3.2%減でした。貯蓄型保険の好調と保障保険の契約増は金融市場の下落が運用成績に及ぼした影響で相殺されました（一部は譲渡益で回復）。営業費用は事業開発の支援や目標を絞ったプロジェクトの推進に伴って7億8,000万ユーロに上り、前年同期比4.0%増でした。保険事業の税引前利益は、関連会社の高水準の寄与や事業売却による譲渡益が当四半期に生じたにもかかわらず、当上半期は8億2,600万ユーロ、前年同期比4.6%減でした。

ウェルス&アセット・マネジメント事業¹

ウェルス&アセット・マネジメント事業¹は全体的に好調でした。ウェルス・マネジメント事業では高水準の資金純流入が見られ（特にドイツとフランス）、取引手数料も特にアジアで増加しました。アセット・マネジメント事業では、厳しい市場環境の下、中長期ファンドを中心に資金純流入を達成し、当四半期のマネー・マーケット・ファンドからの資金流出を相殺しています。不動産管理事業の回復は続いており、アドバイザー業務は堅調です。

ウェルス&アセット・マネジメント事業の営業収益は、当四半期は9億3,600万ユーロ、前年同期比1.9%増でした。ウェルス・マネジメント事業が増収となり（主に高水準の事業活動が奏功）、不動産管理事業（特にアドバイザー業務）の営業収益も増加しましたが、アセット・マネジメント事業の減収（不利な市場環境が痛手）で相殺されました。

営業費用は当四半期は6億7,200万ユーロ、前年同期比6.0%増でした。ウェルス・マネジメント事業と不動産管理事業の事業開発支援で嵩みました。アセット・マネジメント事業の営業費用は連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと前年同期を下回っています。

ウェルス&アセット・マネジメント事業の税引前利益は当四半期は2億7,600万ユーロ、前年同期比7.2%減でした。

2022年度上半期において、ウェルス&アセット・マネジメント事業の営業収益は18億6,500万ユーロ、前年同期比4.8%増でした。ウェルス・マネジメント事業が好調で、不動産管理事業（特にアドバイザー業務）の営業収益も大幅に増え、アセット・マネジメント事業²の営業収益も（当四半期の不利な市場環境をよそに）ほぼ横ばいでした。営業費用は事業開発支援で嵩み、13億3,900万ユーロと前年同期比5.7%増でした。ウェルス&アセット・マネジメント事業の税引前利益は当上半期は5億8,500万ユーロ、前年同期比6.9%減でした。減益は高水準だった前年同期との比較によるもので、2021年度上半期にはアセット・マネジメント事業が保有していた持分の売却で第1四半期に生じた譲渡益が含まれています。

¹ アセット・マネジメント、ウェルス・マネジメント、不動産管理、プリンシパル・インベストメンツ

² プリンシパル・インベストメンツを含む

コーポレート・センター

現在、コーポレート・センターの連結範囲にはプリンシパル・インベストメンツは含まれておらず、インベストメント&プロテクションサービス（IPS）部門に連結されています。

コーポレート・センターの営業収益は当四半期は-5,000万ユーロでした（前年同期は7,900万ユーロ）。

営業費用は当四半期は1億6,800万ユーロで、前年同期の2億1,700万ユーロから減少しました。当四半期の営業費用には、一時項目として、事業再編費用¹と事業適応費用²が2,800万ユーロ（前年同期は2,400万ユーロ）、IT強化費用が8,200万ユーロ（同4,700万ユーロ）含まれています。

リスク費用は当四半期は6,300万ユーロで、前年同期の6,700万ユーロから削減しました。

他の営業外項目は当四半期に6,600万ユーロの損失となりました（前年同期は2億9,800万ユーロの利益）。当四半期の営業外項目には減損の引当が5,700万ユーロ含まれ、前年同期の営業外項目にはAllfunds株売却による譲渡益が3億ユーロ含まれていました。

以上から、コーポレート・センターの税引前損益は当四半期は3億2,800万ユーロの損失でした（前年同期は7,300万ユーロの利益）。

2022年度上半期において、コーポレート・センターの営業収益は1,600万ユーロでした（前年同期は3億2,200万ユーロ）。デリバティブに含まれる自己勘定の信用リスク再評価の効果（+1億800万ユーロ）を反映しましたが、2022年度第1四半期における非経常的項目のマイナス影響で相殺されています。営業費用は6億7,900万ユーロでした。当上半期の営業費用には、特にIFRIC 21「賦課金」³の増加に加え、一時項目として、事業再編費用¹と事業適応費用⁴が5,400万ユーロ、IT強化費用が1億3,200万ユーロ含まれています。リスク費用は1億1,700万ユーロでした（前年同期は1億2,100万ユーロ）。その他の営業外項目は1億900万ユーロの損失でした（前年同期は5億8,900万ユーロの利益）。当上半期の営業外項目には、Ukrsibbankの証券の減損（-1億5,900万ユーロ）、為替差損益⁵の再分類に伴うマイナス影響（-2億7,400万ユーロ）が含まれ、この一部はbpost bankの負ののれんから生じたプラス影響（+2億4,400万ユーロ）、持分売却による譲渡益（+2億400万ユーロ）で相殺されました。前年同期の営業外項目には、一時項目として、建物売却による譲渡益3億200万ユーロやAllfunds株売却⁶による譲渡益3億ユーロが含まれていました。以上から、コーポレート・センターの税引前損益は当上半期は8億4,700万ユーロの損失でした（前年同期は3億3,000万ユーロの利益）。

¹ 特に特定の事業（とりわけCIB部門）の中止・再編に関連

² 特にCIB部門、コマーシャル&個人向けバンキング事業、ウェルネス・マネジメント事業に関連

³ IFRIC21に基づく「賦課金」の適用により当年度に計上される税金・拠出金のほぼ全額を第1四半期に計上（単一破綻処理基金に対する推定拠出額を含む）

⁴ 特にバンクウエストとCIB部門に関連

⁵ 従来は連結持分の控除に計上

⁶ Allfunds持分6.7%の売却

財務構造

当グループの財務構造は極めて盤石です。

普通株式等Tier 1比率は2022年6月末現在12.2%¹で、2022年3月末の水準から20bp低下しました。この主因は以下の通りです。

- 当四半期の純利益を剰余金に計上（配当性向60%とリスクアセットのオーガニック成長を考慮後）：+0 bp
- 2022年6月末時点の市場価格が「その他の包括利益（OCI）」に及ぼした影響とボラティリティの上昇が「プルーデントなバリュウ調整（PVA）」に及ぼした影響：-20bp（2021年12月末以降-30bp）

他の要因が普通株式等Tier1比率に及ぼした影響は全体として限定的でした。

レバレッジ比率²は2022年6月末現在3.8%でした。

即時利用可能な剰余資金は2022年6月末現在で4,500億ユーロに上りました。これは資金調達との関係で1年超の余裕資金があることを意味しています。

¹ 資本要求指令4（CRD4）；国際財務報告基準（IFRS）第9号経過規定を含む

² 欧州中央銀行（ECB）の2021年6月18日の決定によって認定されたユーロ中央銀行制度（ユーロシステム）への預金関連の一時的免除を選択せず、規則（EU）2019/876に従って算定

IFRS 第5号適用 – 比較表 (未監査)

BNPパリバ・グループは2021年12月20日、カナダの金融大手BMO Financial Groupとバンクウェストが運営する米国商業銀行事業すべてを売却することについて合意したと発表しました。当該取引の条件は、当グループが売却目的で保有する資産・負債に関してIFRS第5号の適用範囲に該当するため（注記7.d 「2021年12月31日付け連結財務諸表の非継続事業」参照）、2020年度通期については「非継続事業の純利益」を個別に修正再表示することが必要となります。

特段の記載がない限り、この発表の財務情報・項目は、業務見通しを反映するバンクウェスト関連事業を含みます。したがって同財務情報・項目は、売却目的で保有する非流動資産・負債に関連するIFRS第5号適用の影響を反映することはありません。本プレスリリースでは、下記の通り、IFRS第5号を非適用とした業務見通しと、IFRS第5号を適用した連結財務諸表を比較しています。

2022年度上半期の連結損益計算書—IFRS第5号比較表

(単位: 百万ユーロ)	2022年度上半期 IFRS第5号適用前	2022年度上半期 IFRS第5号の影響	2022年度上半期 IFRS第5号適用後	2021年度上半期 IFRS第5号適用前	2021年度上半期 IFRS第5号の影響	2021年度上半期 IFRS第5号適用後 修正再表示
受取利息純額	11,402	(1,085)	10,317	10,822	(972)	9,850
受取手数料純額	5,252	(192)	5,060	5,195	(157)	5,038
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の純益	5,584	(2)	5,582	4,109	(39)	4,070
株式を通じて公正価値で測定する金融資産の純益	126	(16)	110	124	(17)	107
償却原価で測定する金融資産の認識中止に係る純利益	(5)	-	(5)	50	(37)	13
保険事業の純利益	2,295	-	2,295	2,318	-	2,318
その他事業の純利益	1,345	(14)	1,331	987	(19)	968
営業収益	25,999	(1,309)	24,690	23,605	(1,241)	22,364
従業員給与および従業員給付制度に関わる費用	(9,327)	554	(8,773)	(8,643)	475	(8,168)
その他営業費用	(6,769)	303	(6,466)	(5,886)	233	(5,653)
有形固定資産・無形固定資産の減価償却費、償却費、減損	(1,276)	85	(1,191)	(1,240)	79	(1,161)
営業総利益	8,627	(367)	8,260	7,836	(454)	7,382
リスク費用	(1,245)	(165)	(1,410)	(1,709)	2	(1,707)
営業利益	7,382	(532)	6,850	6,127	(452)	5,675
持分法適用会社投資損益	416	-	416	225	-	225
非流動資産純益	(277)	(1)	(278)	665	(5)	660
のれん	258	-	258	-	-	-
税引前利益	7,779	(533)	7,246	7,017	(457)	6,560
法人税	(2,287)	168	(2,119)	(2,162)	89	(2,073)
非継続事業の純利益		365	365		368	368
少数株主帰属純利益	207	-	207	176	-	176
株主帰属純利益	5,285	-	5,285	4,679	-	4,679

連結貸借対照表－2022年6月30日現在－IFRS第5号比較表

IFRS第5号適用

(単位：百万ユーロ)	2022年6月30日現在 IFRS第5号適用前	IFRS第5号の影響	2022年6月30日現在 IFRS第5号適用後	2021年12月31日現在 IFRS第5号適用後
資産				
預金および中央銀行預け金	357,727	(5,309)	352,418	347,883
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産				
トレーディング目的有価証券	211,483	(645)	210,838	191,507
貸出金および売戻契約	296,601	(26)	296,575	249,808
デリバティブ金融商品	354,330	(260)	354,070	240,423
ヘッジ目的デリバティブ	15,497	-	15,497	8,680
その他の包括利益を通じ公正価値で測定する金融資産				
負債性金融商品	43,440	(5,055)	38,385	38,906
資本性金融商品	2,285	-	2,285	2,558
償却原価で測定する金融資産				
金融機関貸出金および債権	37,515	(174)	37,341	21,751
顧客貸出金および債権	911,078	(56,034)	855,044	814,000
負債性金融商品	137,073	(17,891)	119,182	108,510
金利リスクヘッジポートフォリオの再測定による調整	(4,047)	-	(4,047)	3,005
保険事業に係る金融商品	253,163	-	253,163	280,766
当期および繰延税金資産	5,910	(401)	5,509	5,866
未収収益およびその他の資産	213,803	(1,649)	212,154	179,123
持分法適用会社投資	6,699	-	6,699	6,528
有形固定資産および投資不動産	36,524	(454)	36,070	35,083
無形固定資産	3,892	(241)	3,651	3,659
のれん	8,034	(2,752)	5,282	5,121
売却目的保有資産	-	90,891	90,891	91,267
資産合計	2,891,007	-	2,891,007	2,634,444
負債				
中央銀行預金	3,250	-	3,250	1,244
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債				
トレーディング目的有価証券	128,819	-	128,819	112,338
預金および買戻契約	335,399	-	335,399	293,456
負債証券	67,057	-	67,057	70,383
デリバティブ金融商品	315,785	(325)	315,460	237,397
ヘッジ目的デリバティブ	28,265	(239)	28,026	10,076
償却原価で測定する金融負債				
金融機関預金	192,293	(551)	191,742	165,699
顧客預金	1,082,688	(74,027)	1,008,661	957,684
負債性金融商品	162,597	(148)	162,449	149,723
劣後債	25,702	-	25,702	24,720
金利リスクヘッジポートフォリオの再測定による調整	(14,993)	-	(14,993)	1,367
当期および繰延税金負債	3,135	(30)	3,105	3,103
未払費用およびその他の負債	199,492	(1,011)	198,481	145,399
責任準備金およびその他の保険負債	231,779	-	231,779	254,795
偶発債務等引当金	9,210	(173)	9,037	10,187
売却目的保有資産関連負債	-	76,504	76,504	74,366
負債合計	2,770,478	-	2,770,478	2,511,937
連結資本				
資本金、払込剰余金、および利益剰余金	111,254	-	111,254	108,176
親会社株主帰属当期純利益	5,285	-	5,285	9,488
資本金、利益剰余金、および親会社株主帰属当期純利益合計	116,539	-	116,539	117,664
資本に直接認識される資産および負債の変動	(594)	-	(594)	222
親会社株主資本	115,945	-	115,945	117,886
少数株主資本	4,584	-	4,584	4,621
連結資本合計	120,529	-	120,529	122,507
負債および連結資本合計	2,891,007	-	2,891,007	2,634,444

連結損益計算書

	2Q22	2Q21	2Q22 / 2Q21	1Q22	2Q22 / 1Q22	1H22	1H21	1H22 / 1H21
(単位：百万ユーロ)								
グループ								
営業収益	12,781	11,776	+8.5%	13,218	-3.3%	25,999	23,605	+10.1%
うち受取利息	5,695	5,370	6.1%	5,734	-0.7%	11,429	10,822	5.6%
うち手数料	2,615	2,640	-0.9%	2,637	-0.8%	5,252	5,195	1.1%
営業費用および減価償却費	-7,719	-7,172	+7.6%	-9,653	-20.0%	-17,372	-15,769	+10.2%
営業総利益	5,062	4,604	+9.9%	3,565	+42.0%	8,627	7,836	+10.1%
リスク費用	-789	-813	-3.0%	-456	+73.0%	-1,245	-1,709	-27.2%
営業利益	4,273	3,791	+12.7%	3,109	+37.4%	7,382	6,127	+20.5%
持分法適用会社投資損益	251	101	n.s.	165	+52.1%	416	225	+84.9%
その他の営業外項目	-22	302	n.s.	3	n.s.	-19	665	n.s.
税引前利益	4,502	4,194	+7.4%	3,277	+37.4%	7,779	7,017	+10.9%
法人税	-1,240	-1,193	+4.0%	-1,047	+18.4%	-2,287	-2,162	+5.8%
少数株主帰属純利益	-85	-90	-5.5%	-122	-30.3%	-207	-176	+17.6%
株主帰属純利益	3,177	2,911	+9.1%	2,108	+50.7%	5,285	4,679	+13.0%
コストインカム率	60.4%	60.9%	-0.5 pt	73.0%	-12.6 pt	66.8%	66.8%	+0.0 pt

BNPパリバの2022年度第2四半期に関わる財務情報の開示は、本プレスリリースおよびプレゼンテーションに含まれています。

法令上要求される開示情報は全て、登録書類 (universal registration document) を含めて、<http://invest.bnpparibas.com>の「Results (業績)」セクションからオンラインで入手可能であり、フランスの通貨金融法典L.451-1-2条およびフランス金融市場庁 (Autorité des Marchés Financiers) の一般規則第222-1条以降の規定に従い、BNPパリバが公表しています。



2022年度第2四半期 - コア事業別業績

		コマーシャル&個人向けバンキングサービス部門 (プライベート・バンキングの2/3)	インベストメント&プロテクションサービス部門	ホールセールバンキング部門	事業部門合計	コーポレート・センター	グループ合計
(単位: 百万ユーロ)							
営業収益		7,001	1,723	4,106	12,831	-50	12,781
	対前年同期比	+11.2%	+2.2%	+10.6%	+9.7%	n.s.	+8.5%
	対前四半期比	+3.0%	+4.5%	-12.7%	-2.4%	n.s.	-3.3%
営業費用および減価償却費		-4,168	-1,068	-2,314	-7,551	-168	-7,719
	対前年同期比	+6.6%	+6.7%	+13.3%	+8.6%	-22.6%	+7.6%
	対前四半期比	-12.0%	+1.7%	-31.0%	-17.4%	-67.2%	-20.0%
営業総利益		2,833	655	1,792	5,280	-218	5,062
	対前年同期比	+18.7%	-4.3%	+7.2%	+11.3%	+57.9%	+9.9%
	対前四半期比	+37.4%	+9.3%	+32.8%	+31.7%	-51.1%	+42.0%
リスク費用		-644	-6	-76	-726	-63	-789
	対前年同期比	-6.2%	+91.2%	+34.9%	-2.6%	-6.9%	-3.0%
	対前四半期比	+63.6%	-16.2%	n.s.	+80.6%	+16.4%	+73.0%
営業利益		2,189	649	1,716	4,554	-281	4,273
	対前年同期比	+28.8%	-4.7%	+6.2%	+14.0%	+36.7%	+12.7%
	対前四半期比	+31.2%	+9.6%	-27.3%	+26.2%	-43.8%	+37.4%
持分法適用会社投資損益		157	66	9	232	19	251
その他の営業外項目		32	13	-1	44	-66	-22
税引前利益		2,378	729	1,724	4,830	-328	4,502
	対前年同期比	+34.9%	+1.1%	+5.3%	+17.2%	n.s.	+7.4%
	対前四半期比	+35.0%	+6.7%	+27.5%	+27.2%	-36.8%	+37.4%

		コマーシャル&個人向けバンキングサービス部門 (プライベート・バンキングの2/3)	インベストメント&プロテクションサービス部門	ホールセールバンキング部門	事業部門合計	コーポレート・センター	グループ合計
(単位: 百万ユーロ)							
営業収益		7,001	1,723	4,106	12,831	-50	12,781
	前年同期	6,298	1,686	3,714	11,697	79	11,776
	前四半期	6,800	1,650	4,702	13,152	66	13,218
営業費用および減価償却費		-4,168	-1,068	-2,314	-7,551	-168	-7,719
	前年同期	-3,912	-1,001	-2,042	-6,955	-217	-7,172
	前四半期	-4,738	-1,051	-3,353	-9,142	-511	-9,653
営業総利益		2,833	655	1,792	5,280	-218	5,062
	前年同期	2,386	684	1,672	4,742	-138	4,604
	前四半期	2,062	599	1,349	4,010	-445	3,565
リスク費用		-644	-6	-76	-726	-63	-789
	前年同期	-686	-3	-57	-746	-67	-813
	前四半期	-394	-7	-2	-402	-54	-456
営業利益		2,189	649	1,716	4,554	-281	4,273
	前年同期	1,700	681	1,615	3,996	-205	3,791
	前四半期	1,669	592	1,347	3,608	-499	3,109
持分法適用会社投資損益		157	66	9	232	19	251
	前年同期	73	38	10	121	-20	101
	前四半期	86	52	4	142	23	166
その他の営業外項目		32	13	-1	44	-66	-22
	前年同期	-10	2	12	4	298	302
	前四半期	6	39	1	46	-43	3
税引前利益		2,378	729	1,724	4,830	-328	4,502
	前年同期	1,763	721	1,637	4,121	73	4,194
	前四半期	1,761	683	1,353	3,796	-519	3,277
法人税							-1,240
少数株主帰属純利益							-85
株主帰属純利益							3,177



2022年度上半期 - コア事業別業績

		コマーシャル&個人向けバンキングサービス部門 (プライベート・バンキングの2/3)	インベストメント&プロテクションサービス部門	ホールセールバンキング部門	事業部門合計	コーポレート・センター	グループ合計
(単位: 百万ユーロ)							
営業収益		13,802	3,373	8,809	25,983	16	25,999
	対前年同期比	+9.9%	+1.0%	+19.3%	+11.6%	-95.1%	+10.1%
営業費用および減価償却費		-8,906	-2,119	-5,668	-16,693	-679	-17,372
	対前年同期比	+5.8%	+5.1%	+16.2%	+9.0%	+47.4%	+10.2%
営業総利益		4,895	1,254	3,141	9,290	-663	8,627
	対前年同期比	+18.1%	-5.1%	+25.3%	+16.5%	n.s.	+10.1%
リスク費用		-1,038	-13	-78	-1,128	-117	-1,245
	対前年同期比	-23.2%	+56.8%	-65.9%	-28.9%	-3.8%	-27.2%
営業利益		3,857	1,241	3,063	8,162	-780	7,382
	対前年同期比	+38.1%	-5.5%	+34.4%	+27.8%	n.s.	+20.5%
持分法適用会社投資損益		243	118	13	375	41	416
その他の営業外項目		38	52	0	90	-109	-19
税引前利益		4,139	1,411	3,077	8,626	-847	7,779
	対前年同期比	+44.1%	-5.6%	+32.6%	+29.0%	n.s.	+10.9%
法人税							-2,287
少数株主帰属純利益							-207
株主帰属純利益							5,285



連結四半期業績の推移

(単位：百万ユーロ)	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
グループ						
営業収益	12,781	13,218	11,232	11,398	11,776	11,829
うち受取利息	5,695	5,734	5,169	5,218	5,370	5,452
うち手数料	2,615	2,637	2,919	2,603	2,640	2,555
営業費用および減価償却費	-7,719	-9,653	-7,930	-7,412	-7,172	-8,597
営業総利益	5,062	3,565	3,302	3,986	4,604	3,232
リスク費用	-789	-456	-510	-706	-813	-896
営業利益	4,273	3,109	2,792	3,280	3,791	2,336
持分法適用会社投資損益	251	165	138	131	101	124
その他の営業外項目	-22	3	240	39	302	363
税引前利益	4,502	3,277	3,170	3,450	4,194	2,823
法人税	-1,240	-1,047	-759	-836	-1,193	-969
少数株主帰属純利益	-85	-122	-105	-111	-90	-86
株主帰属純利益	3,177	2,108	2,306	2,503	2,911	1,768
コストインカム率	60.4%	73.0%	70.6%	65.0%	60.9%	72.7%
融資平均残高 (十億ユーロ)	851.8	828.3	806.4	793.5	787.9	781.9
預金平均残高 (十億ユーロ)	842.9	824.7	809.3	796.2	785.4	770.2
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	942.7	903.8	883.0	873.9	866.8	846.9
リスク費用 (年率、bp)	33	20	23	32	38	42



(単位:百万ユーロ)	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
コーポラル&個人向けバンキングサービス (CPBS) 部門 (フランス、ベルギー、イタリア、ルクセンブルク、ポーランド、トルコ、米国、ドイツのプライベートバンキングの100%を含む) ¹						
営業収益	7,184	6,979	6,506	6,485	6,467	6,430
営業費用および減価償却費	-4,263	-4,848	-4,252	-4,046	-4,001	-4,609
営業総利益	2,921	2,131	2,253	2,439	2,466	1,821
リスク費用	-645	-401	-597	-639	-694	-668
営業利益	2,275	1,730	1,657	1,800	1,771	1,154
持分法適用会社投資損益	157	86	70	92	73	51
その他の営業外項目	32	6	-5	104	-10	-36
税引前利益	2,464	1,822	1,722	1,996	1,834	1,169
ウェルネス&アセット・マネジメントに配分される利益	-86	-61	-74	-70	-71	-60
コーポラル&個人向けバンキングサービス部門税引前利益	2,378	1,761	1,648	1,926	1,763	1,110
コストインカム率	59.3%	69.5%	65.4%	62.4%	61.9%	71.7%
融資平均残高 (十億ユーロ)	667	651	636	628	624	622
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	659	643	633	630	624	625
預金平均残高 (十億ユーロ)	645	634	624	612	600	586
リスク費用 (年率、bp)	39	25	38	41	44	43
配賦資本 (十億ユーロ、年初来; フランス、ベルギー、イタリア、ルクセンブルク、ポーランド、トルコ、米国、ドイツのプライベートバンキングの2/3を含む)	46.3	44.9	43.3	43.3	43.5	43.8
リスクアセット (十億ユーロ)	426.5	422.3	402.8	395.6	393.7	395.3
(単位:百万ユーロ)	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
コーポラル&個人向けバンキングサービス部門 (フランス、ベルギー、イタリア、ルクセンブルク、ポーランド、トルコ、米国、ドイツのプライベートバンキングの2/3を含む)						
営業収益	7,001	6,800	6,334	6,321	6,298	6,263
営業費用および減価償却費	-4,168	-4,738	-4,153	-3,954	-3,912	-4,504
営業総利益	2,833	2,062	2,181	2,367	2,386	1,759
リスク費用	-644	-394	-597	-638	-686	-665
営業利益	2,189	1,669	1,583	1,729	1,700	1,094
持分法適用会社投資損益	157	86	70	92	73	51
その他の営業外項目	32	6	-5	104	-10	-36
税引前利益	2,378	1,761	1,648	1,926	1,763	1,110
コストインカム率	59.5%	69.7%	65.6%	62.5%	62.1%	71.9%
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	46.3	44.9	43.3	43.3	43.5	43.8
リスクアセット (十億ユーロ)	422.2	418.1	398.9	391.8	389.9	391.7
(単位:百万ユーロ)	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
コーポラル&個人向けバンキング事業 (フランス、ベルギー、イタリア、ルクセンブルク、ポーランド、トルコ、米国のプライベートバンキングの100%を含む) ¹						
営業収益	4,702	4,575	4,318	4,379	4,297	4,257
うち受取利息純額	3,071	2,984	2,745	2,873	2,763	2,798
うち手数料	1,630	1,590	1,574	1,507	1,534	1,459
営業費用および減価償却費	-3,065	-3,575	-3,071	-2,959	-2,861	-3,402
営業総利益	1,637	1,000	1,247	1,420	1,437	855
リスク費用	-265	-43	-219	-280	-316	-313
営業利益	1,372	957	1,028	1,140	1,121	542
持分法適用会社投資損益	133	70	48	76	78	37
その他の営業外項目	3	6	-12	68	-1	-36
税引前利益	1,508	1,033	1,064	1,283	1,198	542
ウェルネス&アセット・マネジメントに配分される利益	-86	-61	-73	-70	-71	-59
コーポラル&個人向けバンキング事業税引前利益	1,422	972	991	1,214	1,127	483
コストインカム率	65.2%	78.1%	71.1%	67.6%	66.6%	79.9%
融資平均残高 (十億ユーロ)	523	510	496	491	486	486
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	538	525	517	512	508	508
預金平均残高 (十億ユーロ)	614	604	594	584	573	560
リスク費用 (年率、bp)	20	3	17	22	25	25
配賦資本 (十億ユーロ、年初来; フランス、ベルギー、イタリア、ルクセンブルク、ポーランド、トルコ、米国のプライベートバンキングの2/3を含む)	34.6	33.5	32.0	31.9	32.0	32.4
リスクアセット (十億ユーロ)	317.9	315.5	300.5	294.9	291.9	291.3
(単位:百万ユーロ)	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
コーポラル&個人向けバンキング事業 (フランス、ベルギー、イタリア、ルクセンブルク、ポーランド、トルコ、米国のプライベートバンキングの2/3を含む)						
営業収益	4,521	4,398	4,149	4,217	4,131	4,092
営業費用および減価償却費	-2,972	-3,466	-2,974	-2,868	-2,773	-3,299
営業総利益	1,550	932	1,174	1,349	1,358	793
リスク費用	-264	-36	-219	-279	-308	-310
営業利益	1,286	896	955	1,070	1,050	483
持分法適用会社投資損益	133	70	48	76	78	37
その他の営業外項目	3	6	-12	68	-1	-37
税引前利益	1,422	972	991	1,214	1,127	483
コストインカム率	65.7%	78.8%	71.7%	68.0%	67.1%	80.6%
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	34.6	33.5	32.0	31.9	32.0	32.4
リスクアセット (十億ユーロ)	313.6	311.3	296.6	291.1	288.2	287.7

1. プライベートバンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む

(単位: 百万ユーロ)	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
ユーロ圏のコマーシャル&個人向けバンキング事業 (フランス、ベルギー、イタリア、ルクセンブルクのプライベートバンキングの100%を含む)¹						
営業収益	3,479	3,317	3,243	3,280	3,246	3,116
うち受取利息純額	2,074	1,947	1,922	1,979	1,921	1,861
うち手数料	1,405	1,370	1,321	1,302	1,325	1,255
営業費用および減価償却費	-2,152	-2,678	-2,220	-2,151	-2,061	-2,557
営業総利益	1,327	640	1,023	1,129	1,185	559
リスク費用	-187	-198	-211	-288	-249	-281
営業利益	1,140	442	812	841	936	277
持分法適用会社投資損益	1	0	1	5	1	-3
その他の営業外項目	31	6	-15	60	3	3
税引前利益	1,171	448	799	906	940	278
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-72	-50	-64	-63	-64	-50
ユーロ圏のコマーシャル&個人向けバンキング事業税引前利益	1,099	397	735	843	876	228

コストインカム率	61.9%	80.7%	68.5%	65.6%	63.5%	82.1%
融資平均残高 (十億ユーロ)	433	425	412	407	404	402
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	449	437	430	427	421	421
預金平均残高 (十億ユーロ)	501	492	481	473	465	456
リスク費用 (年率、bp)	17	18	20	27	24	27
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; フランス、ベルギー、イタリア、ルクセンブルクのプライベートバンキングの2/3を含む)	24.0	23.2	22.0	22.0	22.0	22.2
リスクアセット (十億ユーロ)	214.0	218.8	207.2	201.7	201.3	201.5

(単位: 百万ユーロ)	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
ユーロ圏のコマーシャル&個人向けバンキング事業 (フランス、ベルギー、イタリア、ルクセンブルクのプライベートバンキングの2/3を含む)						
営業収益	3,326	3,164	3,096	3,137	3,099	2,971
営業費用および減価償却費	-2,073	-2,583	-2,136	-2,073	-1,986	-2,465
営業総利益	1,254	582	960	1,065	1,113	506
リスク費用	-186	-191	-212	-287	-241	-278
営業利益	1,068	391	748	778	872	227
持分法適用会社投資損益	1	0	1	5	1	-3
その他の営業外項目	31	6	-15	60	3	3
税引前利益	1,099	397	735	843	876	228

コストインカム率	62.3%	81.6%	69.0%	66.1%	64.1%	83.0%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	24.0	23.2	22.0	22.0	22.0	22.2
リスクアセット (十億ユーロ)	209.9	214.7	203.4	198.0	197.6	197.9

(単位: 百万ユーロ)	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
フランスのコマーシャル&個人向けバンキング事業 (フランスのプライベートバンキングの100%を含む)¹						
営業収益	1,728	1,613	1,608	1,574	1,607	1,481
うち受取利息純額	919	847	884	859	860	797
うち手数料	809	766	724	714	747	684
営業費用および減価償却費	-1,117	-1,239	-1,178	-1,129	-1,075	-1,175
営業総利益	612	374	430	444	532	306
リスク費用	-64	-93	-99	-115	-101	-125
営業利益	548	281	331	329	431	181
持分法適用会社投資損益	1	0	0	0	-2	0
その他の営業外項目	25	0	-15	54	0	0
税引前利益	574	282	316	383	429	181
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-42	-31	-35	-34	-30	-28
フランスのコマーシャル&個人向けバンキング事業税引前利益	531	250	280	349	399	153

コストインカム率	64.6%	76.8%	73.3%	71.8%	66.9%	79.3%
融資平均残高 (十億ユーロ)	208	203	201	200	199	198
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	221	218	215	216	213	213
預金平均残高 (十億ユーロ)	244	240	241	237	231	226
リスク費用 (年率、bp)	12	17	19	21	19	24
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; フランスのプライベートバンキングの2/3を含む)	11.0	10.6	10.6	10.7	10.8	10.8
リスクアセット (十億ユーロ)	102.8	103.2	98.0	96.4	97.1	99.6

1. プライベートバンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む

PEL/CELに係る引当金に関する留意事項: 当該引当金は、フランスのコマーシャル&個人向けバンキング (CPBF) 事業収益において計上されているが、住宅貯蓄制度 (Plans Epargne Logement: PEL) および住宅貯蓄口座 (Comptes Epargne Logement: CEL) から全存続期間にわたり生じるリスクを考慮している。

(単位: 百万ユーロ)	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
PEL/CELの影響 (フランスのプライベートバンキングの100%)	14	11	6	3	19	1

(単位: 百万ユーロ)	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
フランスのコマーシャル&個人向けバンキング事業 (フランスのプライベートバンキングの2/3を含む)						
営業収益	1,647	1,531	1,530	1,499	1,531	1,406
営業費用および減価償却費	-1,078	-1,195	-1,136	-1,091	-1,036	-1,132
営業総利益	569	336	395	408	495	274
リスク費用	-64	-86	-100	-113	-94	-121
営業利益	505	250	295	295	401	153
営業外項目	26	0	-15	54	-2	1
税引前利益	531	250	280	349	399	153
コストインカム率	65.4%	78.0%	74.2%	72.8%	67.7%	80.5%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	11.0	10.6	10.6	10.7	10.8	10.8
リスクアセット (十億ユーロ)	100.0	100.4	95.5	93.9	94.6	97.2

(単位: 百万ユーロ)	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
BNPベンカ・コメルシアール (イタリアのプライベートバンキングの100%を含む) ¹						
営業収益	671	654	668	667	669	676
うち受取利息純額	387	380	370	365	387	398
うち手数料	284	274	298	282	283	278
営業費用および減価償却費	-416	-454	-438	-449	-435	-458
営業総利益	255	201	230	218	235	217
リスク費用	-110	-128	-143	-130	-105	-110
営業利益	146	73	87	88	130	107
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0	0
その他の営業外項目	2	0	0	0	0	0
税引前利益	148	73	87	88	130	107
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-8	-8	-9	-8	-10	-9
BNPベンカ・コメルシアールの税引前利益	139	65	78	80	120	98
コストインカム率	62.0%	69.3%	65.6%	67.3%	64.9%	67.9%
融資平均残高 (十億ユーロ)	78	79	78	77	76	77
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	79	82	80	78	77	79
預金平均残高 (十億ユーロ)	65	63	62	59	59	58
リスク費用 (年率、bp)	55	63	71	67	54	56
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; イタリアのプライベートバンキングの2/3を含む)	6.0	5.9	5.3	5.3	5.3	5.5
リスクアセット (十億ユーロ)	49.3	49.8	49.1	49.2	48.2	47.7
(単位: 百万ユーロ)	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
BNPベンカ・コメルシアール (イタリアのプライベートバンキングの2/3を含む)						
営業収益	649	633	645	645	647	654
営業費用および減価償却費	-403	-440	-424	-435	-422	-445
営業総利益	246	193	222	210	225	208
リスク費用	-109	-128	-143	-130	-104	-110
営業利益	138	65	78	80	120	98
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0	0
その他の営業外項目	2	0	0	0	0	0
税引前利益	139	65	78	80	120	98
コストインカム率	62.0%	69.5%	65.7%	67.4%	65.2%	68.1%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	6.0	5.9	5.3	5.3	5.3	5.5
リスクアセット (十億ユーロ)	48.8	49.3	48.7	48.8	47.8	47.3
(単位: 百万ユーロ)	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
ベルギーのコマーシャル&個人向けバンキング事業 (ベルギーのプライベートバンキングの100%を含む) ¹						
営業収益	965	935	854	933	864	858
うち受取利息純額	677	632	581	649	589	585
うち手数料	288	303	273	284	275	274
営業費用および減価償却費	-554	-905	-540	-511	-488	-845
営業総利益	412	30	314	422	376	14
リスク費用	-16	17	28	-36	-45	-47
営業利益	396	47	342	386	331	-33
持分法適用会社投資損益	1	0	2	5	2	-3
その他の営業外項目	3	4	1	6	4	3
税引前利益	399	52	344	397	337	-33
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-20	-10	-18	-20	-22	-12
ベルギーのコマーシャル&個人向けバンキング事業税引前利益	379	42	326	377	315	-45
コストインカム率	57.3%	96.8%	63.3%	54.8%	56.5%	98.4%
融資平均残高 (十億ユーロ)	134	131	120	119	116	115
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	136	125	122	120	118	118
預金平均残高 (十億ユーロ)	162	161	149	149	149	146
リスク費用 (年率、bp)	5	-6	-9	12	15	16
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; ベルギーのプライベートバンキングの2/3を含む)	6.2	5.9	5.3	5.2	5.2	5.2
リスクアセット (十億ユーロ)	54.2	58.4	53.1	49.4	49.1	47.5
(単位: 百万ユーロ)	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
ベルギーのコマーシャル&個人向けバンキング事業 (ベルギーのプライベートバンキングの2/3を含む)						
営業収益	920	890	810	890	819	813
営業費用および減価償却費	-529	-870	-514	-486	-466	-811
営業総利益	392	20	296	403	353	3
リスク費用	-16	18	28	-37	-44	-48
営業利益	376	38	324	367	309	-45
持分法適用会社投資損益	1	0	2	5	2	-3
その他の営業外項目	3	4	1	6	4	3
税引前利益	379	42	326	377	315	-45
コストインカム率	57.4%	97.8%	63.4%	54.7%	56.9%	99.7%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	6.2	5.9	5.3	5.2	5.2	5.2
リスクアセット (十億ユーロ)	53.5	57.6	52.4	48.7	48.4	46.8

1. プライベートバンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位: 百万ユーロ)	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
ルクセンブルクの商業&個人向けバンキング事業 (プライベートバンキングの100%を含む) ¹						
営業収益	114	115	113	107	106	101
うち受取利息純額	90	88	87	86	85	81
うち手数料	24	27	26	21	21	20
営業費用および減価償却費	-66	-80	-64	-62	-64	-79
営業総利益	48	35	49	45	42	22
リスク費用	3	5	3	-7	1	1
営業利益	51	40	52	38	43	23
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0	0
その他の営業外項目	0	2	0	0	0	0
税引前利益	51	42	52	38	43	23
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-2	-2	-2	-2	-1	-1
ルクセンブルクの商業&個人向けバンキング事業税引前利益	49	40	50	37	42	21
コスト/インカム率	57.8%	69.8%	56.3%	58.1%	60.2%	78.2%
融資平均残高 (十億ユーロ)	13	13	12	12	12	12
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	13	13	12	12	12	12
預金平均残高 (十億ユーロ)	30	29	29	28	27	27
リスク費用 (年率、bp)	-9	-17	-10	23	-3	-2
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; ルクセンブルクのプライベートバンキングの2/3を含む)	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7
リスクアセット (十億ユーロ)	7.6	7.5	6.8	6.6	6.8	6.7
(単位: 百万ユーロ)	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
ルクセンブルクの商業&個人向けバンキング事業 (プライベートバンキングの2/3を含む)						
営業収益	110	111	110	104	103	97
営業費用および減価償却費	-64	-78	-62	-61	-62	-77
営業総利益	46	33	48	43	41	21
リスク費用	3	5	3	-7	1	1
営業利益	49	38	51	36	42	21
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0	0
その他の営業外項目	0	2	0	0	0	0
税引前利益	49	40	50	37	42	21
コスト/インカム率	57.9%	70.4%	56.5%	58.2%	60.4%	78.9%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7
リスクアセット (十億ユーロ)	7.5	7.4	6.8	6.6	6.8	6.7
(単位: 百万ユーロ)	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
他の国々の商業&個人向けバンキング事業 (ポーランド、トルコ、米国のプライベートバンキングの100%を含む) ¹						
営業収益	1,223	1,258	1,075	1,099	1,052	1,141
うち受取利息純額	997	1,037	822	894	842	938
うち手数料	225	221	253	205	209	204
営業費用および減価償却費	-913	-897	-851	-808	-799	-845
営業総利益	310	361	224	291	252	297
リスク費用	-78	154	-8	8	-67	-32
営業利益	232	515	216	299	185	265
持分法適用会社投資損益	132	70	46	71	77	40
その他の営業外項目	-27	0	2	8	-4	-40
税引前利益	337	585	265	378	258	265
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-14	-10	-9	-7	-7	-9
他の国々の商業&個人向けバンキング事業税引前利益	323	575	256	371	251	255
コスト/インカム率	74.6%	71.3%	79.2%	73.5%	76.0%	74.0%
融資平均残高 (十億ユーロ)	90	85	84	83	83	84
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	89	87	87	86	87	87
預金平均残高 (十億ユーロ)	113	112	113	111	108	105
リスク費用 (年率、bp)	35	-71	4	-4	31	15
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; ポーランド、トルコ、米国のプライベートバンキングの2/3を含む)	10.6	10.3	10.0	10.0	10.0	10.2
リスクアセット (十億ユーロ、年初末)	103.8	96.8	93.4	93.2	90.7	89.8
(単位: 百万ユーロ)	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
他の国々の商業&個人向けバンキング事業 (ポーランド、トルコ、米国のプライベートバンキングの2/3を含む)						
営業収益	1,195	1,234	1,053	1,080	1,032	1,122
営業費用および減価償却費	-899	-883	-839	-795	-787	-834
営業総利益	296	351	214	284	245	288
リスク費用	-78	154	-8	8	-67	-32
営業利益	218	505	207	292	178	255
持分法適用会社投資損益	132	70	46	71	77	40
その他の営業外項目	-27	0	2	8	-4	-40
税引前利益	323	575	256	371	251	255
コスト/インカム率	75.2%	71.6%	79.6%	73.7%	76.3%	74.3%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	10.6	10.3	10.0	10.0	10.0	10.2
リスクアセット (十億ユーロ)	103.7	96.7	93.2	93.1	90.6	89.8

1. プライベートバンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位: 百万ユーロ)	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
欧州・地中海沿岸諸国事業 (ポーランドとトルコのプライベートバンキングの100%を含む) ¹						
営業収益	566	639	449	511	464	516
うち受取利息純額	455	518	320	401	349	399
うち手数料	111	121	129	109	115	117
営業費用および減価償却費	-418	-422	-395	-383	-394	-435
営業総利益	148	217	54	128	71	82
リスク費用	-48	-39	-32	-15	-58	-39
営業利益	100	178	22	113	12	43
持分法適用会社投資損益	132	70	46	71	77	40
その他の営業外項目	-29	0	-3	-1	-7	-41
税引前利益	203	248	65	183	82	41
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-3	-3	-2	-1	-2	-3
欧州・地中海沿岸諸国事業税引前利益	200	245	63	182	80	39
コスト/インカム率	73.8%	66.1%	87.9%	74.9%	84.8%	84.2%
融資平均残高 (十億ユーロ)	35	34	34	35	34	34
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	37	37	38	37	36	37
預金平均残高 (十億ユーロ)	41	40	41	41	40	39
リスク費用 (年率、tp)	53	43	34	17	65	42
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; ポーランドとトルコのプライベートバンキングの2/3を含む)	5.2	5.1	5.0	5.0	5.0	5.1
リスクアセット (十億ユーロ)	51.8	48.4	46.5	47.6	45.9	44.5

(単位: 百万ユーロ)	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
欧州・地中海沿岸諸国事業 (ポーランドとトルコのプライベートバンキングの2/3を含む)						
営業収益	560	634	445	508	461	512
営業費用および減価償却費	-416	-420	-393	-381	-392	-433
営業総利益	145	214	52	127	69	80
リスク費用	-48	-39	-32	-15	-58	-39
営業利益	97	174	20	112	10	41
持分法適用会社投資損益	132	70	46	71	77	40
その他の営業外項目	-29	0	-3	-1	-7	-41
税引前利益	200	245	63	182	80	39
コスト/インカム率	74.1%	66.3%	88.3%	75.0%	85.1%	84.5%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	5.2	5.1	5.0	5.0	5.0	5.1
リスクアセット (十億ユーロ)	51.8	48.4	46.5	47.6	45.9	44.5

(単位: 百万ユーロ)	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
バンクウェスト (米国プライベートバンキングの100%を含む) ¹						
営業収益	657	619	626	588	587	625
うち受取利息純額	542	519	502	493	493	538
うち手数料	114	100	124	96	94	87
営業費用および減価償却費	-495	-475	-457	-425	-406	-410
営業総利益	162	144	169	163	182	215
リスク費用	-30	194	24	23	-8	7
営業利益	132	337	194	186	173	222
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0	0
その他の営業外項目	2	0	6	9	3	2
税引前利益	134	337	199	195	176	223
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-11	-7	-7	-6	-5	-7
バンクウェスト税引前利益	123	330	192	189	171	216
コスト/インカム率	75.4%	76.8%	73.0%	72.3%	69.1%	65.6%
融資平均残高 (十億ユーロ)	55	51	50	49	49	50
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	53	51	49	49	51	50
預金平均残高 (十億ユーロ)	73	72	72	71	68	65
リスク費用 (年率、tp)	23	-153	-20	-19	7	-5
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; 米国のプライベートバンキングの2/3を含む)	5.4	5.2	5.0	4.9	5.0	5.0
リスクアセット (十億ユーロ)	52.1	48.3	46.8	45.5	44.8	45.3

(単位: 百万ユーロ)	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
バンクウェスト (米国プライベートバンキングの2/3を含む)						
営業収益	635	600	608	572	571	609
営業費用および減価償却費	-484	-463	-446	-415	-395	-401
営業総利益	151	137	162	157	176	208
リスク費用	-30	194	24	23	-8	7
営業利益	121	331	187	180	168	215
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0	0
その他の営業外項目	2	0	6	9	3	2
税引前利益	123	330	192	189	171	216
コスト/インカム率	76.2%	77.2%	73.3%	72.5%	69.1%	65.8%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	5.4	5.2	5.0	4.9	5.0	5.0
リスクアセット (十億ユーロ)	52.0	48.2	46.7	45.4	44.7	45.3

1. プライベートバンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位: 百万ユーロ)	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
専門的金融事業 (パーソナル・ファイナンス、アルバルとリーシング・ソリューションズ、ニューデジタル事業と個人投資家事業 - ドイツのプライベートバンキングの100%を含む) ¹						
営業収益	2,482	2,404	2,187	2,106	2,169	2,173
営業費用および減価償却費	-1,199	-1,274	-1,181	-1,087	-1,141	-1,207
営業総利益	1,284	1,130	1,007	1,019	1,029	966
リスク費用	-380	-357	-378	-359	-378	-354
営業利益	903	773	629	660	650	612
持分法適用会社投資損益	24	16	22	17	-4	15
その他の営業外項目	28	0	7	36	-9	1
税引前利益	956	789	658	712	637	627
ウェルズ&アセット・マネジメントに配分される利益	0	-1	-1	0	0	-1
専門的金融事業税引前利益	956	789	658	712	636	626
コストインカム率	48.3%	53.0%	54.0%	51.6%	52.6%	55.5%
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	121	118	116	117	117	117
リスク費用 (年率、bp)	125	121	130	122	130	121
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; ドイツのプライベートバンキングの2/3を含む)	11.8	11.4	11.3	11.4	11.5	11.4
リスクアセット (十億ユーロ)	108.6	106.8	102.3	100.7	101.7	104.0
(単位: 百万ユーロ)						
パーソナル・ファイナンス						
営業収益	1,371	1,388	1,294	1,271	1,319	1,332
営業費用および減価償却費	-718	-776	-710	-644	-700	-750
営業総利益	653	612	584	627	619	581
リスク費用	-309	-315	-346	-303	-344	-321
営業利益	344	297	238	324	276	260
持分法適用会社投資損益	26	14	22	16	-2	16
その他の営業外項目	-12	0	-2	36	-9	1
税引前利益	358	312	258	376	264	277
コストインカム率	52.4%	55.9%	54.9%	50.7%	53.1%	56.4%
融資平均残高 (十億ユーロ)	94	93	91	90	91	91
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	96	94	93	94	93	93
リスク費用 (年率、bp)	129	134	150	130	147	138
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	8.0	7.7	7.7	7.8	7.8	7.8
リスクアセット (十億ユーロ)	73.1	72.4	69.5	68.4	70.0	71.5
(単位: 百万ユーロ)						
アルバルとリーシング・ソリューションズ						
営業収益	895	811	709	658	670	639
営業費用および減価償却費	-341	-366	-328	-314	-319	-338
営業総利益	553	445	381	344	350	301
リスク費用	-49	-30	-30	-54	-34	-32
営業利益	505	415	351	291	317	269
持分法適用会社投資損益	1	4	3	3	1	2
その他の営業外項目	40	0	0	0	0	0
税引前利益	545	419	353	293	317	271
コストインカム率	38.1%	45.1%	46.2%	47.7%	47.7%	52.9%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	3.4	3.3	3.2	3.2	3.3	3.3
リスクアセット (十億ユーロ)	30.7	29.5	29.3	28.9	28.2	29.0
合計契約残高 (十億ユーロ)	49	48	47	46	46	45
ファイナンスフリート契約台数 (千台)	1,501	1,484	1,470	1,441	1,417	1,393
(単位: 百万ユーロ)						
ニューデジタル事業と個人投資家事業 (ドイツのプライベートバンキングの100%を含む) ¹						
営業収益	217	205	184	177	180	203
営業費用および減価償却費	-139	-132	-143	-130	-122	-119
営業総利益	77	73	41	47	59	84
リスク費用	-23	-12	-1	-1	-1	-2
営業利益	54	61	40	46	58	82
持分法適用会社投資損益	-2	-3	-3	-2	-3	-3
その他の営業外項目	1	0	9	0	0	0
税引前利益	53	58	47	43	55	79
ウェルズ&アセット・マネジメントに配分される利益	0	-1	-1	0	0	-1
ニューデジタル事業と個人投資家事業の税引前利益	52	58	46	43	54	79
コストインカム率	64.3%	64.4%	77.6%	73.4%	67.5%	58.6%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; ドイツのプライベートバンキングの2/3を含む)	0.5	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3
リスクアセット (十億ユーロ)	4.8	4.9	3.5	3.4	3.4	3.5
Nickelの口座開設数	0	0	0	0	0	0
個人投資家事業の融資平均残高 (十億ユーロ)	2	1	1	1	1	1
個人投資家事業の預金平均残高 (十億ユーロ)	31	30	30	28	27	26
個人投資家事業の運用資産残高 (十億ユーロ)	147	162	163	161	157	146
個人投資家事業の欧州の顧客注文件数 (百万件)	10.1	13.0	11.8	10.7	10.0	12.4

1. プライベートバンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位: 百万ユーロ)	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
インベストメント&プロテクションサービス (IPS) 部門						
営業収益	1,723	1,650	1,639	1,498	1,686	1,652
営業費用および減価償却費	-1,068	-1,051	-1,164	-1,038	-1,001	-1,015
営業総利益	655	599	475	461	684	638
リスク費用	-6	-7	7	-6	-3	-5
営業利益	649	592	482	455	681	633
持分法適用会社投資損益	66	52	57	17	38	44
その他の営業外項目	13	39	-3	-4	2	97
税引前利益	729	683	537	468	721	774
コストインカム率						
運用資産残高 (十億ユーロ。フランス、ベルギー、イタリア、ルクセンブルク、ポーランド、トルコ、米国、ドイツのプライベートバンキングの100%)	1,198	1,244	1,277	1,220	1,205	1,174
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	10.0	9.9	12.0	11.8	11.6	11.5
リスクアセット (十億ユーロ)	44.8	48.8	51.3	50.2	50.5	51.4
(単位: 百万ユーロ)						
保険事業						
営業収益	787	721	655	613	767	792
営業費用および減価償却費	-396	-384	-410	-376	-367	-383
営業総利益	391	337	245	237	399	409
リスク費用	-1	0	-1	0	-1	0
営業利益	390	337	244	237	399	409
持分法適用会社投資損益	48	36	30	-2	25	33
その他の営業外項目	14	1	-2	-4	0	0
税引前利益	453	373	272	231	424	442
コストインカム率						
運用資産残高 (十億ユーロ)	255	270	282	277	274	268
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	7.2	7.2	9.4	9.2	9.1	9.0
リスクアセット (十億ユーロ)	18.2	23.2	26.4	26.5	26.5	28.6
(単位: 百万ユーロ)						
ウェルルス&アセット・マネジメント事業						
営業収益	936	929	984	885	919	861
営業費用および減価償却費	-672	-667	-754	-662	-634	-632
営業総利益	264	262	230	223	285	229
リスク費用	-5	-7	8	-5	-2	-5
営業利益	259	255	238	218	282	223
持分法適用会社投資損益	18	16	28	19	13	12
その他の営業外項目	-1	38	0	0	2	96
税引前利益	276	310	265	237	297	331
コストインカム率						
運用資産残高 (十億ユーロ。フランス、ベルギー、イタリア、ルクセンブルク、ポーランド、トルコ、米国、ドイツのプライベートバンキングの100%)	942	974	995	944	930	906
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	2.8	2.8	2.6	2.6	2.5	2.5
リスクアセット (十億ユーロ)	26.5	25.5	24.8	23.6	23.9	22.7
(単位: 百万ユーロ)						
ウェルルス・マネジメント事業						
営業収益	393	389	365	375	369	367
営業費用および減価償却費	-285	-311	-290	-280	-270	-294
営業総利益	108	78	75	95	99	73
リスク費用	-3	-7	1	-2	-6	-4
営業利益	105	71	77	93	93	69
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0	0
その他の営業外項目	0	0	0	0	1	0
税引前利益	105	71	77	93	94	69
コストインカム率						
運用資産残高 (十億ユーロ。フランス、ベルギー、イタリア、ルクセンブルク、ポーランド、トルコ、米国、ドイツのプライベートバンキングの100%)	411	421	427	412	411	403
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	1.3	1.3	1.2	1.3	1.3	1.3
リスクアセット (十億ユーロ)	13.4	12.4	11.9	11.2	11.4	11.4
(単位: 百万ユーロ)						
アセット・マネジメント事業 (不動産管理、プリンシパル・インベストメンツを含む)						
営業収益	543	540	619	510	550	494
営業費用および減価償却費	-387	-356	-464	-381	-364	-338
営業総利益	156	184	155	128	186	156
リスク費用	-2	1	6	-4	3	-1
営業利益	154	185	161	125	189	155
持分法適用会社投資損益	18	16	28	19	13	12
その他の営業外項目	-1	38	0	0	1	96
税引前利益	171	239	189	144	203	262
コストインカム率						
運用資産残高 (十億ユーロ)	531	553	568	532	519	503
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	1.5	1.5	1.3	1.3	1.3	1.2
リスクアセット (十億ユーロ)	13.2	13.2	12.9	12.4	12.5	11.3



(単位: 百万ユーロ)	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
ホールセールバンキング (CIB) 部門						
営業収益	4,106	4,702	3,264	3,588	3,714	3,670
営業費用および減価償却費	-2,314	-3,353	-2,348	-2,243	-2,042	-2,834
営業総利益	1,792	1,349	915	1,346	1,672	836
リスク費用	-76	-2	80	-24	-57	-172
営業利益	1,716	1,347	996	1,322	1,615	664
持分法適用会社投資損益	9	4	6	9	10	9
その他の営業外項目	-1	1	1	0	12	11
税引前利益	1,724	1,353	1,003	1,331	1,637	683
コストインカム率	56.4%	71.3%	72.0%	62.5%	55.0%	77.2%
配賦資本 (十億ユーロ, 年初末)	28.9	27.4	26.2	25.8	25.3	25.0
リスクアセット (十億ユーロ)	260.7	256.2	234.8	236.7	231.8	224.9
(単位: 百万ユーロ)						
グローバル・バンキング事業						
営業収益	1,248	1,268	1,324	1,282	1,238	1,243
営業費用および減価償却費	-657	-815	-655	-640	-589	-768
営業総利益	591	453	669	642	649	475
リスク費用	-85	20	72	-24	-64	-185
営業利益	505	473	741	618	585	290
持分法適用会社投資損益	1	1	1	1	9	6
その他の営業外項目	0	0	-1	-3	0	0
税引前利益	506	474	740	616	594	296
コストインカム率	52.7%	64.3%	49.5%	49.9%	47.6%	61.8%
融資平均残高 (十億ユーロ)	176	168	161	156	154	149
融資期初残高 (十億ユーロ, リスク費用算定に使用)	170	163	156	153	154	145
預金平均残高 (十億ユーロ)	198	190	185	184	185	184
リスク費用 (年率, bp)	20	-5	-18	6	17	51
配賦資本 (十億ユーロ, 年初末)	16.0	15.2	14.3	14.0	13.5	13.6
リスクアセット (十億ユーロ)	149.0	145.3	133.8	137.4	134.5	124.0
(単位: 百万ユーロ)						
グローバル・マーケット事業						
営業収益	2,196	2,821	1,338	1,731	1,904	1,846
うち FX	1,317	1,700	755	896	1,148	1,149
うち株式およびプライムサービス	878	1,121	583	835	757	697
営業費用および減価償却費	-1,158	-2,000	-1,224	-1,137	-999	-1,564
営業総利益	1,038	821	115	594	905	282
リスク費用	8	-21	10	-2	5	14
営業利益	1,046	799	124	592	910	296
持分法適用会社投資損益	8	2	5	2	5	2
その他の営業外項目	-1	1	-5	4	2	3
税引前利益	1,053	802	125	598	917	302
コストインカム率	52.7%	70.9%	91.4%	65.7%	52.5%	84.7%
配賦資本 (十億ユーロ, 年初末)	11.5	10.9	10.7	10.7	10.7	10.4
リスクアセット (十億ユーロ)	98.5	96.3	89.1	87.4	85.6	90.2
(単位: 百万ユーロ)						
証券管理事業						
営業収益	663	613	602	575	571	581
営業費用および減価償却費	-499	-538	-469	-465	-454	-503
営業総利益	164	75	132	110	117	78
リスク費用	0	0	-2	2	2	-1
営業利益	164	75	130	112	120	77
持分法適用会社投資損益	0	1	0	6	-4	1
その他の営業外項目	0	0	7	-1	10	7
税引前利益	164	77	138	117	126	85
コストインカム率	75.3%	87.7%	78.0%	80.9%	79.4%	86.5%
預かり資産 (十億ユーロ)	11,214	11,907	12,635	12,273	12,067	11,638
管理資産 (十億ユーロ)	2,256	2,426	2,521	2,451	2,388	2,295
取引件数 (百万件)	38.3	38.6	35.5	32.8	33.3	35.7
配賦資本 (十億ユーロ, 年初末)	1.4	1.3	1.2	1.2	1.1	1.1
リスクアセット (十億ユーロ)	13.2	14.6	11.8	11.8	11.7	10.6



(単位:百万ユーロ)	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
コーポレート・センター						
営業収益	-50	66	-5	-10	79	243
営業費用および減価償却費	-168	-511	-264	-178	-217	-244
うち事業再編、IT強化、事業適応費用	-110	-76	-82	-62	-71	-77
営業総利益	-218	-445	-269	-187	-138	0
リスク費用	-63	-54	0	-38	-67	-54
営業利益	-281	-499	-269	-225	-205	-54
持分法適用会社投資損益	19	23	4	13	-20	20
その他の営業外項目	-66	-43	247	-61	298	292
税引前利益	-328	-519	-18	-274	73	257
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	3.5	3.8	4.3	4.2	4.3	3.9
リスクアセット (十億ユーロ)	28.3	22.1	28.7	33.4	32.4	35.2



代替的業績指標（ALTERNATIVE PERFORMANCE MEASURES: APM） – フランス金融市場庁（AMF）の一般規則第223-1条に基づく開示

代替的業績指標	定義	使用理由
事業部門損益計算書（P/L）（各事業部門の営業収益、営業費用、営業総利益、営業利益、税引前利益の合計）	<p>コマーシャル&個人向けバンキング サービス部門、インベストメント&プロテクション サービス部門、ホールセールバンキング部門の損益計算書の合計 （なお、コマーシャル&個人向けバンキング事業の損益には、フランス、イタリア、ベルギー、ルクセンブルク、ドイツ、ポーランド、トルコおよび米国のプライベートバンキングの2/3を含む）</p> <p>BNPパリバ・グループ損益計算書 ＝事業部門＋コーポレート・センターの損益計算書の合計</p> <p>グループ全体の損益計算書との関係は「コア事業別業績」の表で開示</p>	パリバ・グループの本業の業績を示す指標
PEL/CELの影響を除く損益計算書の合計（各事業部門の営業収益、営業総利益、営業利益、税引前利益の合計）	<p>PEL/CELの影響を除く損益計算書の合計</p> <p>グループの調整後の損益計算書の合計は「四半期業績の推移」の表で開示</p>	PEL/CEL口座の全存続期間にわたり発生するリスクに対する引当金変動を除く、当期の損益計算書の合計を表す指標
プライベートバンキングの100%を含むコマーシャル&個人向けバンキング事業の損益計算書の合計	<p>プライベートバンキング全体の損益を含むコマーシャル&個人向けバンキング事業の損益計算書の合計</p> <p>グループの調整後の損益計算書の合計は「四半期業績の推移」の表で開示</p>	<p>コマーシャル&個人向けバンキング事業の業績を示す指標であり、プライベートバンキングの業績の全部を含む</p> <p>（プライベートバンキングは、コマーシャル&個人向けバンキング(2/3)とウェルス・マネジメント(1/3)の共同責任のもとに置かれるが、その割合にもとづきウェルス・マネジメントに損益を配分する前の数値)</p>
営業費用の変化（IFRIC 21を除外後）	IFRIC 21に基づく税金・拠出金を除いた上で、営業費用の変化を算定	IFRIC21に基づく税金および拠出金は、事業年度に関わるほぼ全額を上半期に計上するが、その影響を排除し、他の四半期との比較の際の混乱を避け、当事業年度の営業費用の推移をとらえる指標
コスト/インカム率	営業費用を営業収益で除した比率	銀行業務における業務の効率性を表す指標
リスク費用+期首顧客向け融資残高（単位：bp）	<p>リスク費用（単位：百万ユーロ）を期首の顧客向け融資残高で除したもの</p> <p>詳細な算定方法については、決算資料に添付された「融資残高に関わるリスク費用」で開示</p>	事業別の貸出金残高総額におけるリスクレベルの指標
不良債権カバー率	<p>金融資産（ステージ3）の引当金と当該資産（ステージ3）の減損後残高との関係を表す指標。</p> <p>対象となる資産は、バランスシート上およびオフバランスシートの債権を含み、受け取った担保と相殺する。顧客向けおよび金融機関向け債権には、償却原価で測定される負債および資本を通じて公正価値で測定する有価証券を含む（保険事業を除く）</p>	不良債権に対する引当の状況を表す指標
一時項目を除く株主帰属純利益	<p>一時項目を除いて算定された株主帰属純利益</p> <p>一時項目の詳細については、決算資料に添付された「主な一時項目」で開示</p>	多額の非経常的項目あるいは本業の業績を反映しない項目を除外した、BNPパリバ・グループの純利益を表す指標。除外される項目の主なものに、事業再編、事業適応、IT強化および事業変革費用がある。
自己資本利益率（ROE）	ROEの詳細な算定方法については、決算資料に添付された「株主資本利益率」で開示	BNPパリバ・グループの自己資本の収益力を表す指標
有形自己資本利益率（ROTE）	ROTEの詳細な算定方法については、決算資料に添付された「株主資本利益率」で開示	BNPパリバ・グループの有形自己資本の収益力を表す指標

比較分析 — 連結範囲の変更および為替レート変動による影響の排除

連結範囲の変更による影響を排除するための方法は、買収、売却など、取引の形態に依る。その計算の根本的な目的は、期間比較可能性を確保することにある。

企業を買収または新設した場合、当該企業の業績は、同企業が過年度に未だ買収あるいは設立されていなかった期間に対応する分について、連結範囲の変更による影響を除く当会計年度の期間から排除する。

事業売却の場合、当該事業体の業績は、売却以降の期間に対応する過年度の四半期について対称的に排除する。

連結の会計処理方法を変更した場合、同一条件の下に調整した四半期業績に対して、2会計年度（当期および前期）の間で存在した最も低い持分比率を適用する。

為替レート変動による影響を除いた比較分析においては、前年度の四半期（比較対象となる四半期）業績を、当四半期（分析対象となる四半期）の為替レートで修正再表示する。これらの計算は全て、会社の報告通貨を基準に行う。

注：

営業費用： 従業員給与および従業員給付制度に関わる費用、その他営業費用、有形固定資産の減価償却費、無形固定資産の償却費、および不動産・機械設備を含む固定資産の減損などの総額を指す。本資料全体にわたり、「営業費用」および「費用」は特に区別することなく使われている。

事業部門： 以下の3部門から成る。

- **ホールセールバンキング (CIB) 部門：** グローバル・バンキング事業、グローバル・マーケット事業、証券管理事業
- **コマーシャル&個人向けバンキング サービス (CPBS) 部門：**
 - コマーシャル&個人向けバンキング事業（フランス、ベルギー、イタリア、ルクセンブルク、欧州・地中海沿岸諸国、米国）
 - 専門的金融事業—アルバル、リーシング・ソリューションズ、パーソナル・ファイナンス、ニューデジタル事業（Nickel、Lyf等を含む）、個人投資家事業
- **インベストメント&プロテクション サービス (IPS) 部門：** 保険事業、ウェルス&アセット・マネジメント事業（ウェルス・マネジメント事業、アセット・マネジメント事業、不動産管理事業、プリンシパル・インベストメントを含む）

目次

力強い業績の伸び、ジョーズ効果はポジティブ	3
ホールセールバンキング (CIB) 部門.....	7
コマース&個人向けバンキング サービス (CPBS) 部門	9
インベストメント&プロテクションサービス (IPS) 部門	18
コーポレート・センター	20
財務構造	21
連結貸借対照表－2022年6月30日現在－IFRS第5号比較表	23
連結損益計算書	24
2022年度第2四半期－コア事業別業績	25
2022年度上半期－コア事業別業績	26
連結四半期業績の推移.....	27
代替的業績指標 (ALTERNATIVE PERFORMANCE MEASURES: APM)－フランス金融市場庁 (AMF) の一般規則第223-1条に基づく開示.....	37

Investor Relations & Financial Information

Chrystelle Renaud +33 (0)1 42 98 46 45

Lisa Bugat +33 (0)1 42 98 23 40

Didier Leblanc +33 (0)1 42 98 43 13

Patrice Ménard +33 (0)1 42 98 21 61

Olivier Parenty +33 (0)1 55 77 55 29

Debt Investor Relation Officer

Claire Sineux +33 (0)1 42 98 31 99

E-mail: investor.relations@bnpparibas.com

<https://invest.bnpparibas.com>



BNP PARIBAS

The bank
for a changing
world